

第三次長野市スポーツ推進計画

令和4年度～令和8年度
(案)

令和4年1月

長野市

目次

第1章 計画策定にあたって.....	1
1 計画策定の趣旨.....	2
2 計画の位置づけ.....	4
3 計画の期間.....	5
第2章 本市スポーツ環境の現状と課題.....	6
1 本市を取り巻くスポーツ環境.....	7
2 前回計画の評価と本市のスポーツ推進の現状・課題.....	15
第3章 本市スポーツの理念と方向性.....	18
1 総合計画におけるスポーツ分野.....	19
2 基本理念.....	19
3 基本理念の実現に向けた本市の特徴.....	19
4 本市のスポーツ施策の方向性.....	20
5 施策体系.....	22
第4章 施策の展開と具体的な取組.....	23
施策1 だれもがスポーツを楽しめる環境づくりの推進.....	24
施策2 スポーツを通じた交流拡大の推進.....	41
第5章 計画の推進.....	48
1 推進体制.....	49
2 計画の点検・評価.....	50

第 1 章 計画策定にあたって

計画策定の趣旨

近年、少子高齢化や核家族・単独世帯の増加による暮らしの変化、情報社会の進展やグローバル化にともなった交流の活発化など、社会の環境や価値観が急激に変化しています。長野オリンピック・パラリンピック冬季競技大会の開催から23年が過ぎ、スポーツを取り巻く情勢も変化を続け、スポーツの果たす役割や意義がますます重要になってきています。

国では、平成22年8月に新たなスポーツ文化の確立を目指す『スポーツ立国戦略』を策定、さらに平成23年6月に『スポーツ振興法』を全面改正し『スポーツ基本法』を制定しています。この『スポーツ基本法』の規定に基づき、平成24年3月に『スポーツ基本計画』の策定、平成27年10月にスポーツ庁が設置され、平成29年3月に『第2期スポーツ基本計画』を策定し、『スポーツ参画人口』の拡大と人々がスポーツの力で活力ある社会と絆の強い世界を創るという『一億総スポーツ社会』の実現を目指しています。

本市では、平成23年の『スポーツ基本法』規定に基づき、平成24年4月に「第一次長野市スポーツ推進計画」の策定、平成27年4月に市長部局に文化スポーツ振興部スポーツ課を設置、平成29年4月に「第二次長野市スポーツ推進計画」を策定し、市民のスポーツ振興の推進に取り組んでいます。

そのような中、令和元年東日本台風災害で甚大な被害を受け、令和2～3年には新型コロナウイルス感染症拡大により、スポーツを実施する環境、機会が大きく変化してきました。そこで、健康寿命延伸に寄与する生涯スポーツの推進や総合型地域スポーツクラブ¹と連携した地域における自主的なスポーツ活動の促進、障害者スポーツを含めた総合的なスポーツ推進などを実施してきました。また、本市をホームタウンとする地域密着型プロスポーツチーム²は4チームとなり、各チームと連携することでスポーツによる地域の活性化に繋げてきました。令和3年には、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催され、長野オリンピック・パラリンピック冬季競技大会の開催都市として大会成功に向け支援し、オリンピック・パラリンピックムーブメント³を推進してきました。また、令和10

¹ 総合型地域スポーツクラブ

身近な生活圏である中学校区程度の地域において、学校体育施設や公共スポーツ施設を拠点としながら、年代・性別・技術レベルに関係なくだれもが気軽に参加できる地域住民が主体的に運営するスポーツクラブ

² 地域密着型プロスポーツチーム

地域を拠点としたプロスポーツチーム（株式会社などの経営体が運営するもの）で、試合での活躍や試合以外でのイベントへの参加など地域と密着した活動を行い、地域住民はチームの応援や会員となるなどサポートを行う。このような関係を保ちながら活動することで、ファンを獲得し観客数増加につなげるとともに、地域のスポーツ振興や地域活性化に寄与する効果がある。

³ オリンピックムーブメント

いかなる差別もなく、友好、連帯、フェア・プレーの精神をもって、相互理解を推進するという「オリンピック精神」に基づき、スポーツを通して青少年を育成することによって、平和でよりよい世界を建設し、国際親善に貢献しようとする。

■『オリンピック精神』の普及と国際オリンピック委員会（IOC）のムーブメントの展開・役割

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| ① オリンピックムーブメントの推進 | ⑨ アスリートの健康保持 |
| ② スポーツを人類のために役立てる | ⑩ 政治的・商業的悪用からのスポーツの擁護 |
| ③ オリンピック大会の定期的開催 | ⑪ アスリートの将来保障 |
| ④ 平和の推進と差別の撤廃 | ⑫ スポーツ・フォア・オールの推進 |
| ⑤ 男女平等社会の実現 | ⑬ 適正規模のオリンピック大会とレガシーの継承 |
| ⑥ スポーツ倫理の普及 | ⑭ 環境問題への対応 |
| ⑦ フェア・プレー精神の普及と暴力の廃止 | ⑮ 国際オリンピック・アカデミーの支援 |
| ⑧ アンチ・ドーピング | ⑯ オリンピック教育推進機関の支援 |

■オリンピック精神の三本柱…「スポーツ・文化・環境」

パラリンピックムーブメント

パラリンピックスポーツを通して発信される価値やその意義を通して世の中の人に気づきを与え、より良い社会を作るための社会変革を起こそうとするあらゆる活動のこと。

年（2028 年）には長野県において国内最大スポーツイベントの第 82 回国民スポーツ大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会が開催されます。

本市にはこれまでに培われてきたスポーツに関連する有形無形の財産を活かし、さらなる「スポーツを軸としたまちづくり」を推進していくことが求められます。

本市のスポーツ推進の経緯

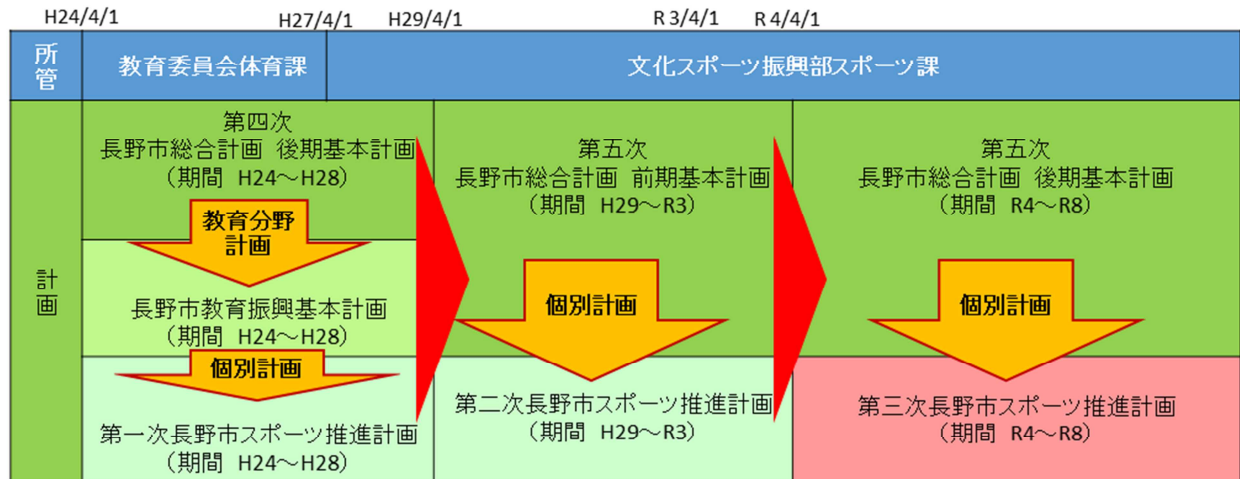
時期	主な動き	内容・成果等
昭和 50 年 6 月 15 日	スポーツ都市宣言	体育施設の整備・充実、体育指導委員（現スポーツ推進委員 ⁴ ）の増員、地域のスポーツ振興、各種スポーツ教室の増設など具体的な施策を推進
昭和 51 年	全国高等学校総合体育大会	
昭和 53 年	第 33 回国民体育大会（やまびこ国体）	
平成 10 年 2 月	長野オリンピック冬季競技大会	長野オリンピック・パラリンピック冬季競技大会によりもたらされたスポーツ施設やボランティア精神など、有形無形の財産を基に、オリンピック・パラリンピックムーブメントの推進とスポーツの振興を図る
平成 10 年 3 月	長野パラリンピック冬季競技大会	
平成 17 年 2 月	スペシャルオリンピックス冬季世界大会長野	
平成 20 年 9 月	長野市スポーツ振興計画	“第四次長野市総合計画”において、“スポーツを軸としたまちづくりの推進”を基本施策に掲げてまちづくりを推進
平成 21 年 9 月	「文化芸術及びスポーツの振興による文化力あふれるまちづくり条例」を制定	
平成 24 年 4 月	第一次長野市スポーツ推進計画	
平成 29 年 4 月	第二次長野市スポーツ推進計画	“第五次長野市総合計画 前期基本計画”において、“スポーツを軸としたまちづくりの推進”を基本施策に掲げてまちづくりを推進
令和 2 年 7～9 月	東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会 開催延期（新型コロナウイルス感染症拡大による）	東京 2020 オリンピック聖火リレー 開催延期 東京 2020 大会コミュニティライブサイト in NAGANO 開催延期 東京 2020 パラリンピック聖火フェスティバル 開催延期
令和 3 年 7～9 月	東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会	東京 2020 オリンピック聖火リレー 開催（4 月） 東京 2020 大会コミュニティライブサイト in NAGANO 開催 東京 2020 パラリンピック聖火フェスティバル 開催
令和 10 年	第 82 回国民スポーツ大会（予定） 第 27 回全国障害者スポーツ大会（予定）	

以上の背景を踏まえながら、本市のスポーツをさらに発展させていくために、計画期間が終了する「第二次長野市スポーツ推進計画」（平成 29～令和 3 年度）を改訂し、「第三次長野市スポーツ推進計画」を策定します。

⁴ **スポーツ推進委員**

本市の、スポーツ推進のための事業実施に係る連絡調整、市民に対するスポーツの実技指導・助言等を行う、スポーツ基本法に基づいた市の非常勤職員のこと。

長野市スポーツ推進計画の経緯

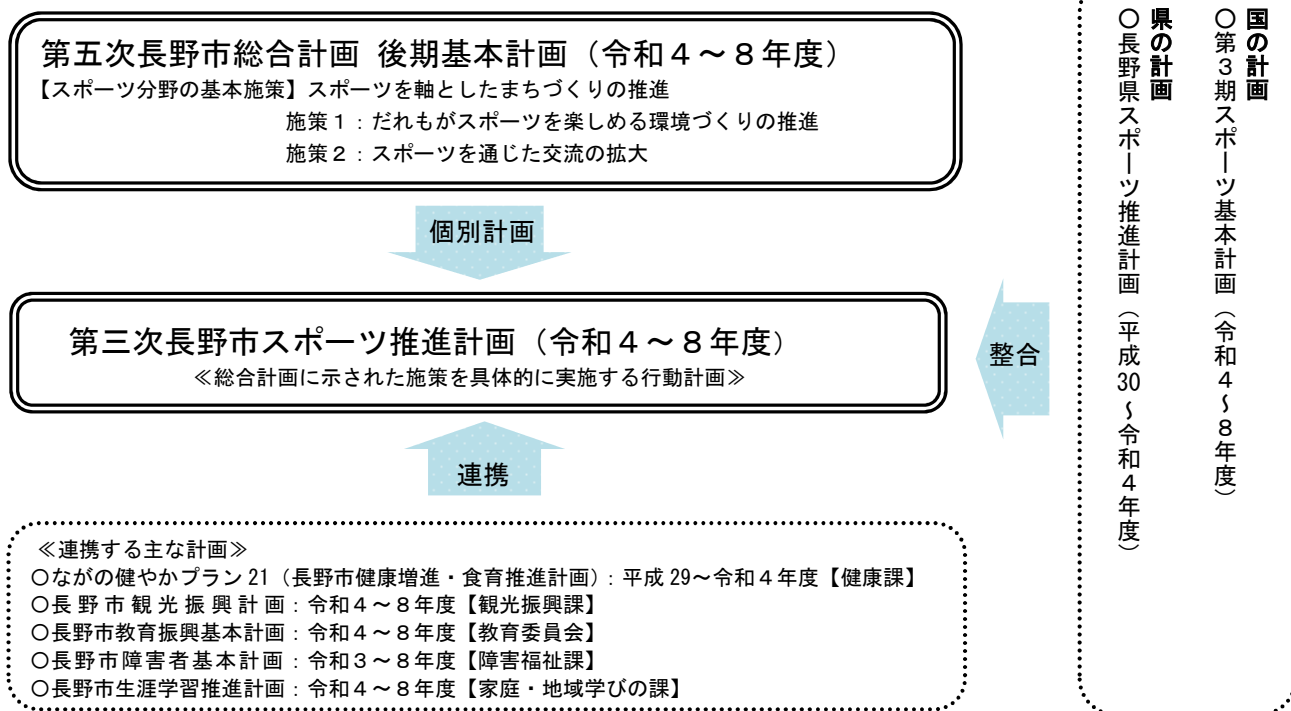


計画の位置づけ

本計画は、平成 23 年 6 月に制定された『スポーツ基本法』（平成 23 年法律第 78 号）の第 10 条第 1 項の規定により、長野市独自の計画として策定するものです。

「第五次長野市総合計画後期基本計画」のスポーツ分野の個別計画（「第五次長野市総合計画後期基本計画」に示された施策を具体的に実施する行動計画）として位置づけます。

本計画は、国・県が策定する計画を参照し、施策の整合を図ります。また、「ながの健やかプラン 21」、「長野市観光振興計画」、「長野市教育振興基本計画」、「長野市障害者基本計画」、「長野市生涯学習推進計画」の諸計画に部分的に関わる計画としても位置づけ、施策・事業の展開において連携していきます。



1 計画の期間

計画期間は、「第五次長野市総合計画後期基本計画」と同様に令和 4 年度から令和 8 年度までの 5 年間とします。

ただし、この期間中、進捗状況や社会情勢の急激な変化、また国の『スポーツ基本計画』及び県の『スポーツ推進計画』の施策の展開を踏まえ、必要に応じて見直しするものとします。

第 2 章 本市スポーツ環境の現状と課題

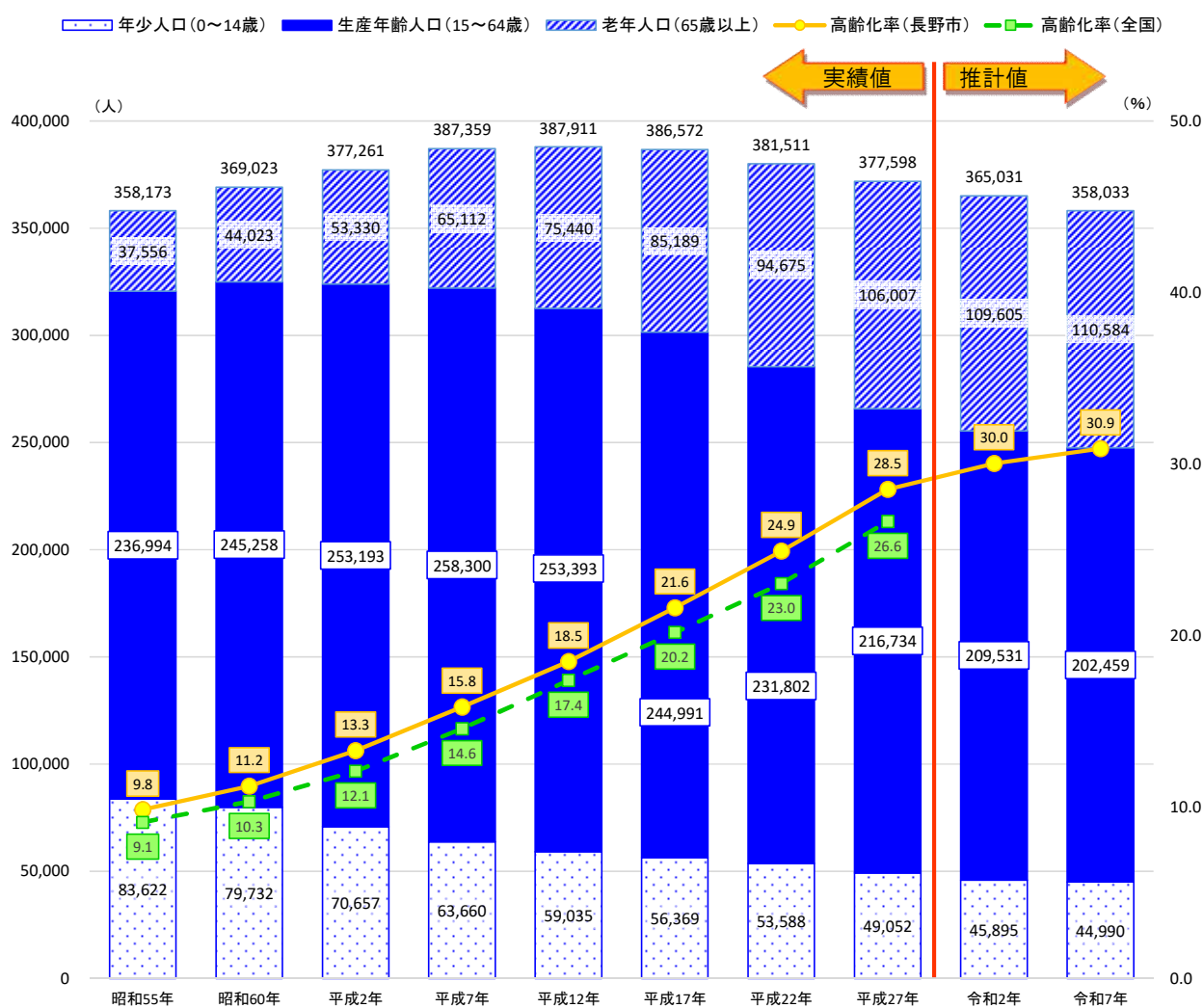
1 本市を取り巻くスポーツ環境

令和3年1月に実施した長野市スポーツ推進市民アンケート及び各統計により、本市のスポーツ環境の現状と課題を把握します。

(1) スポーツの実施に関する状況

① 人口の推移

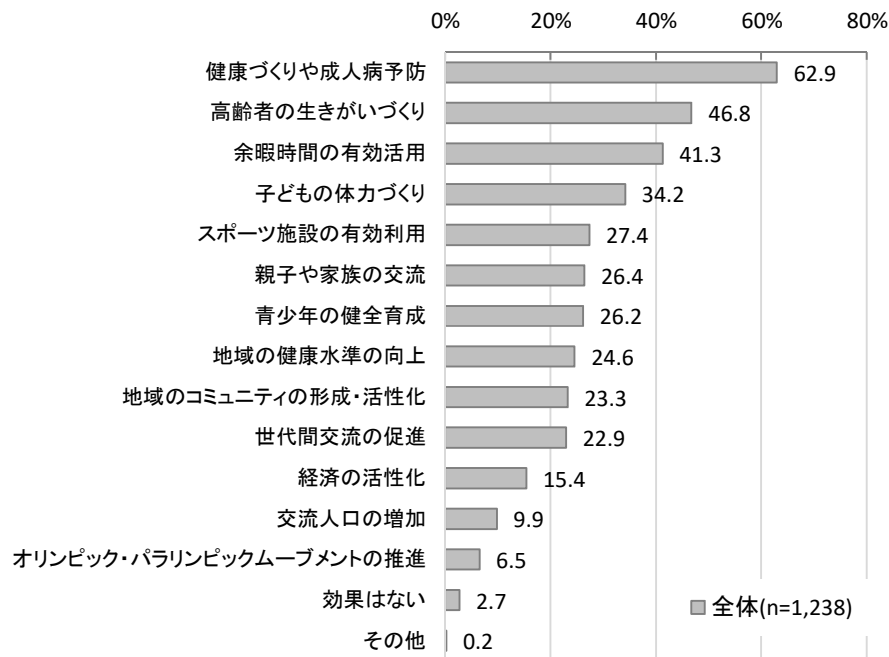
人口の推移を年齢3区分別にみると、昭和55年以降、年少人口（0～14歳）は緩やかに減少しています。生産年齢人口（15～64歳）は平成7年まで増加していましたが、以降減少しています。老年人口（65歳以上）は、増加傾向にあり、平成7年には年少人口を上回っています。高齢化率は、全国よりもわずかに高い値を推移しています。



出典：実績値は国勢調査
推計値は長野市人口ビジョン

②スポーツ振興に期待する効果（複数回答）

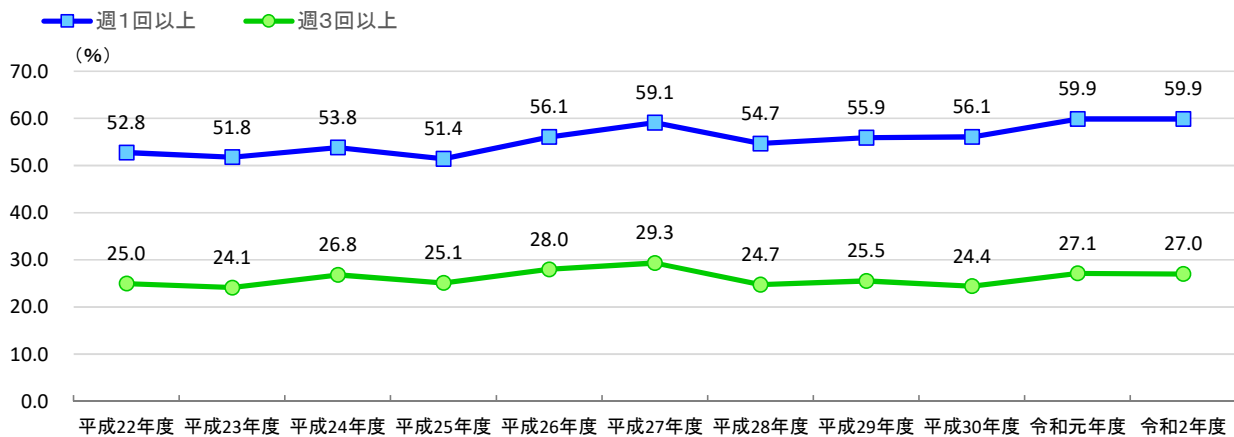
スポーツ振興には、「健康づくりや成人病予防」、「高齢者の生きがいづくり」、「余暇時間の有効活用」「子どもの体力づくり」等の効果が期待されています。



出典：長野市スポーツ推進市民アンケート

③スポーツ活動を行っている成人の割合

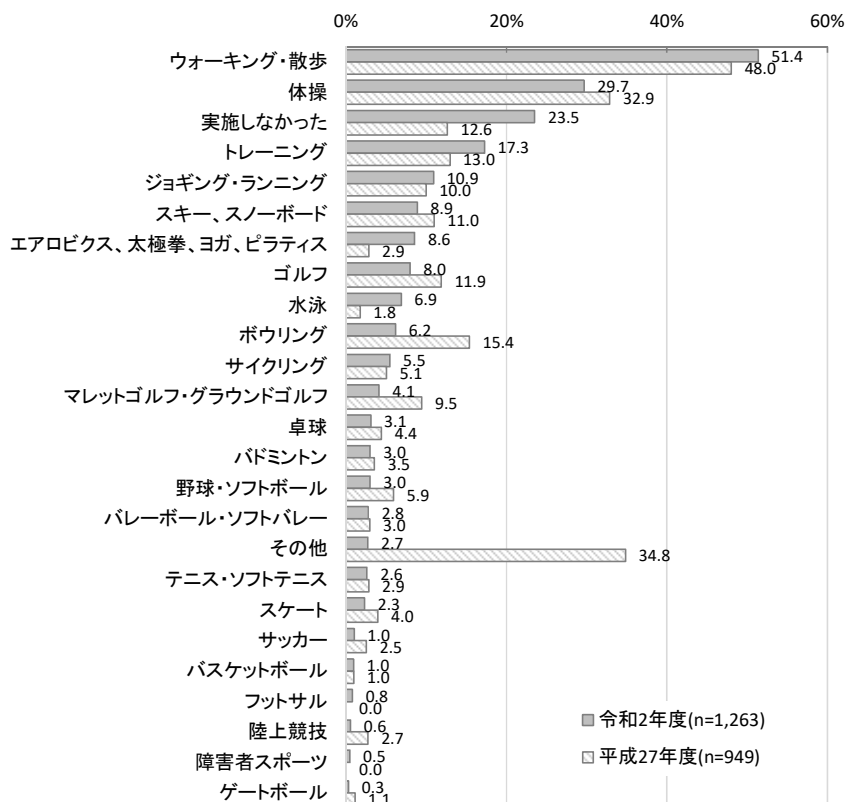
スポーツ活動を行っている成人の割合は、週1回以上・週3回以上ともにほぼ横ばいの推移となっています。令和2年度は、59.9%（週1回以上）、27.0%（週3回以上）となっています。



出典：まちづくりアンケート

④スポーツの実施状況（複数回答）

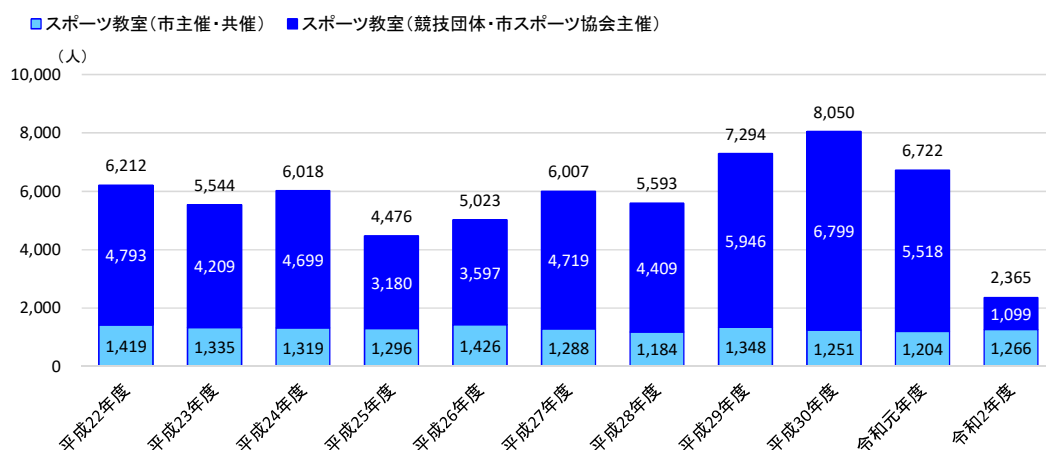
よく実施されているスポーツは、「ウォーキング・散歩」（51.4%）、「体操」（29.7%）、「トレーニング」（17.3%）の順になっており、身近で・気軽にできるスポーツのニーズが高まっていると考えられます。



出典：長野市スポーツ推進市民アンケート

⑤スポーツ教室の参加者数

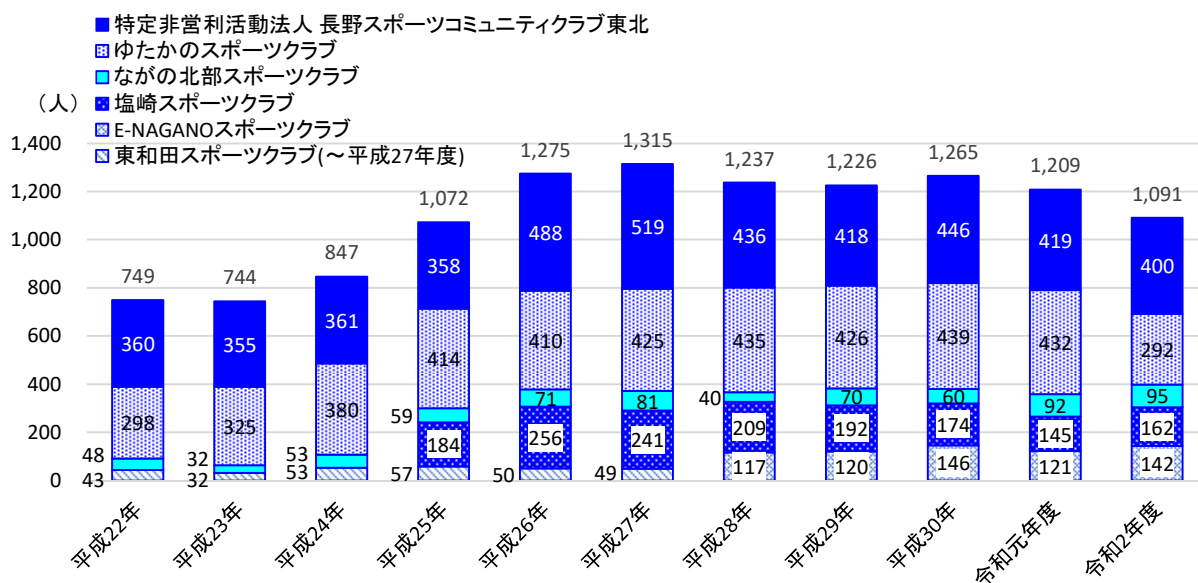
市主催・共催のスポーツ・レクリエーション教室の参加者数は横ばいとなっています。競技団体や長野市スポーツ協会主催の教室への参加者数は、平成25年度以降、増加傾向にありましたが、コロナ禍の影響を受けて令和元年度、令和2年度は減少しています。



出典：長野市 市政概要

⑥総合型地域スポーツクラブの会員数

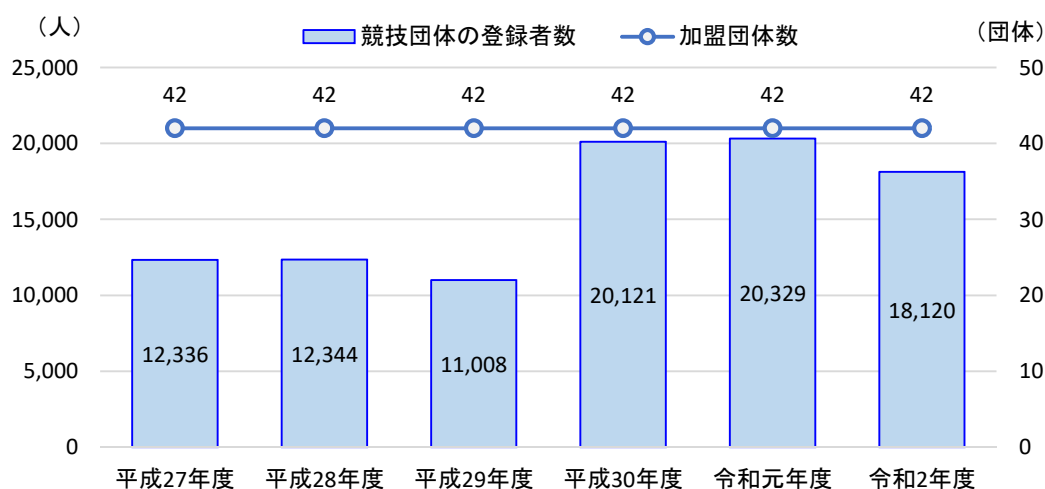
本市の総合型地域スポーツクラブの会員数は、平成27年度までは増加傾向にありましたが、その後は減少傾向に転じています。令和2年度は1,091人となっています。



出典：長野市スポーツ課

⑦長野市スポーツ協会加盟競技団体の登録者数と加盟団体数

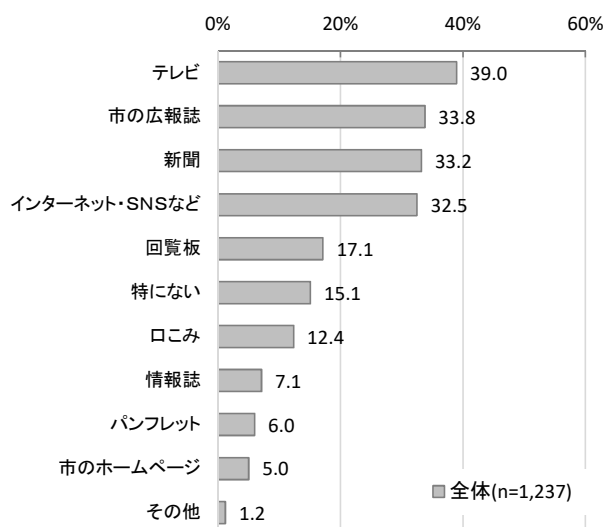
競技団体の登録者数は、平成30年度に増加した後、令和2年度に減少し18,120人となっています。加盟団体数は42団体と横ばいです。



出典：長野市スポーツ課

⑧スポーツに関する情報の入手先（複数回答）

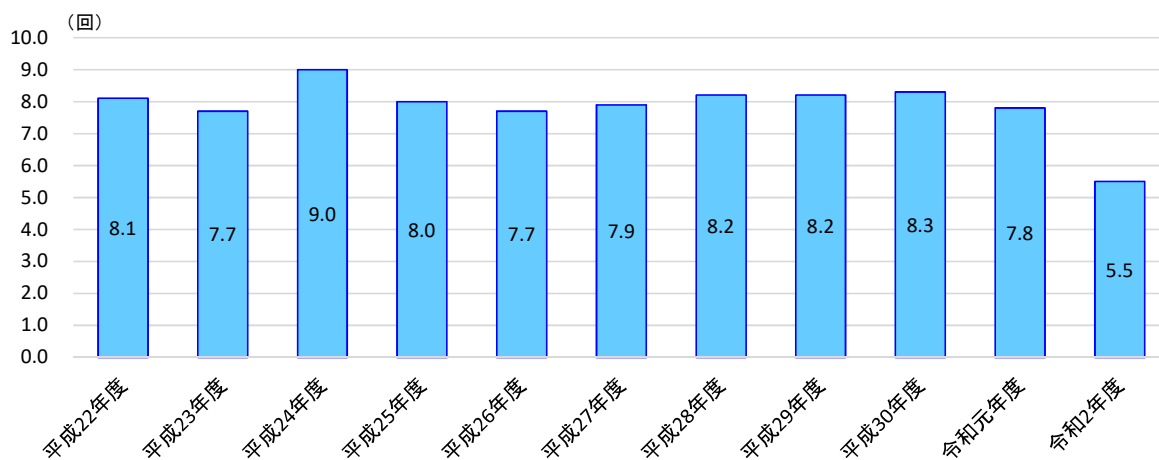
スポーツに関する情報の入手先は、「テレビ」、「市の広報誌」、「新聞」、「インターネット・SNS⁵など」が多くなっています。



出典：長野市スポーツ推進市民アンケート

⑨市民一人あたりの市有スポーツ施設利用回数の推移

市民一人あたりの市有スポーツ施設利用回数は、令和元年度まで横ばいで推移し、令和2年度に減少しています。



出典：長野市スポーツ課

⁵ SNS

Social Networking Service（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の略。情報交換を楽しむことで、人と人とのつながりを促進するインターネットのサービスのこと。

(2) スポーツの観戦に関する状況

① 過去1年間の競技場におけるスポーツ観戦の状況

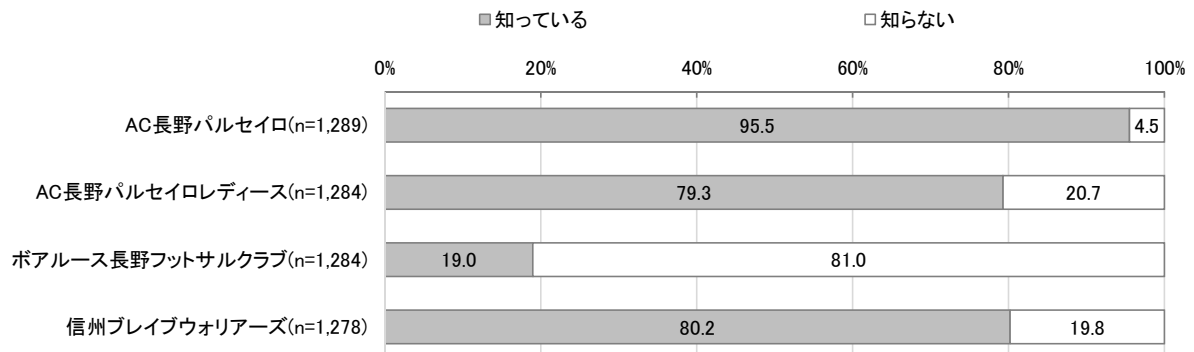
テレビやインターネットでスポーツ観戦をした回答者は91.2%、直接観戦した回答者は51.1%となっています。今後、直接観戦したいスポーツとして、地域密着型プロスポーツ（サッカー、バスケットボール等）に関連する項目も上位に入っています。

	観戦方法(この1年間)						今後、競技場で観戦したい(複数)	
	直接観戦した(複数)		テレビやネット(複数)		最も熱心に観戦した(単一)			
	(n=446)	割合	(n=1,182)	割合	(n=889)	割合	(n=953)	割合
1	観戦しなかった	48.9%	マラソン、駅伝	64.0%	マラソン、駅伝	14.7%	フィギュアスケート	29.6%
2	サッカーリーグ・なでしこリーグ	16.4%	フィギュアスケート	56.3%	大相撲	14.2%	プロ野球	27.0%
3	その他野球	9.0%	大相撲	54.1%	フィギュアスケート	13.3%	大相撲	25.9%
4	バスケットボール	8.7%	プロ野球	45.1%	観戦しなかった	12.7%	サッカーリーグ・なでしこリーグ	19.7%
5	プロ野球	7.4%	その他野球	39.6%	プロ野球	11.7%	その他野球	18.0%
6	大相撲	6.7%	サッカーリーグ・なでしこリーグ	29.2%	サッカーリーグ・なでしこリーグ	7.5%	観戦しなかった	17.8%
7	フィギュアスケート	4.9%	その他サッカー	29.0%	ゴルフ	5.4%	バスケットボール	16.8%
8	マラソン、駅伝	4.0%	ゴルフ	28.4%	バスケットボール	3.4%	その他サッカー	12.0%
9	ゴルフ	2.9%	テニス	26.0%	その他野球	3.4%	マラソン、駅伝	11.3%
10	バレーボール	2.5%	ラグビー	22.3%	その他	3.0%	ラグビー	11.3%
11	ラグビー	2.2%	バレーボール	22.3%	ラグビー	2.9%	バレーボール	10.2%
12	その他	2.2%	陸上競技	19.0%	その他サッカー	2.6%	ゴルフ	7.8%
13	テニス	2.0%	バスケットボール	15.6%	テニス	2.4%	テニス	7.7%
14	フットサル	2.0%	観戦しなかった	8.8%	バレーボール	2.0%	陸上競技	5.0%
15	陸上競技	1.8%	その他	5.3%	陸上競技	0.8%	その他	5.7%
16	その他サッカー	1.8%	フットサル	3.2%	その他	0.0%	フットサル	2.2%

出典：長野市スポーツ推進市民アンケート

② 地域密着型プロスポーツチームの認知度

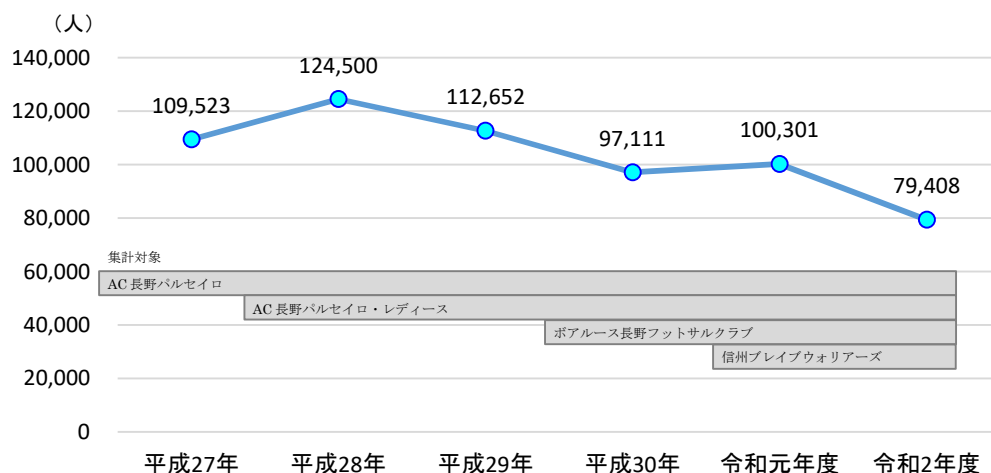
チームごとの認知度は、「AC長野パルセイロ」(95.5%)が最も高く、次いで「信州ブレイブウォリアーズ」(80.2%)、「AC長野パルセイロ・レディース」(79.3%)、「ボアルース長野フットサルクラブ」(19.0%)となっています。



出典：長野市スポーツ推進市民アンケート

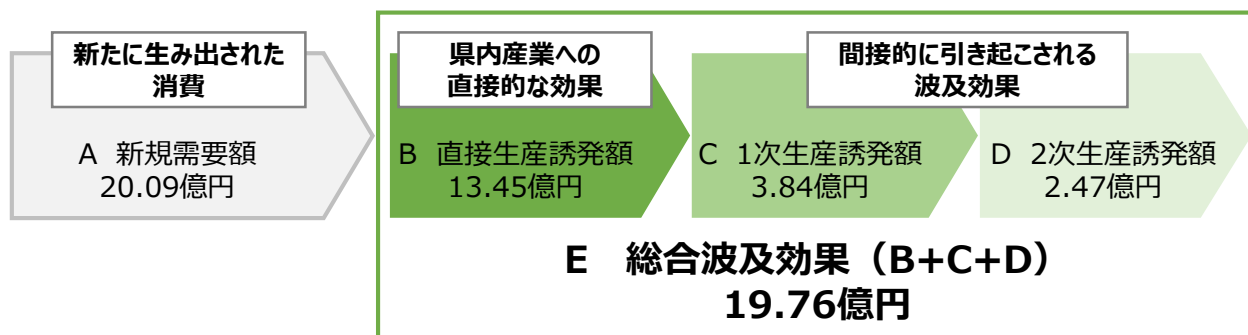
③ 地域密着型プロスポーツチームのホームゲーム入場者数

地域密着型プロスポーツチームのホームゲーム入場者数は、平成 28 年以降、減少傾向となっています。



④ 地域密着型プロスポーツチームの経済波及効果

長野市内に 4 つの地域密着型プロチームがあることによる 2021 年シーズンの経済波及効果は、まず、初期需要として消費された 20.09 億円が直接生み出した生産活動（直接生産誘発額）が 13.45 億円、それらによって生み出された生産活動（1 次生産誘発額）が 3.84 億円、それまでの過程で発生した雇用者所得により生み出された消費と生産活動（2 次生産誘発額）が 2.47 億円、直接生産誘発額から 2 次生産誘発額までの合計（総合波及効果）は 19.76 億円となっています。



出典：長野市内でのプロスポーツ観戦に関するアンケート調査（令和 3 年度）

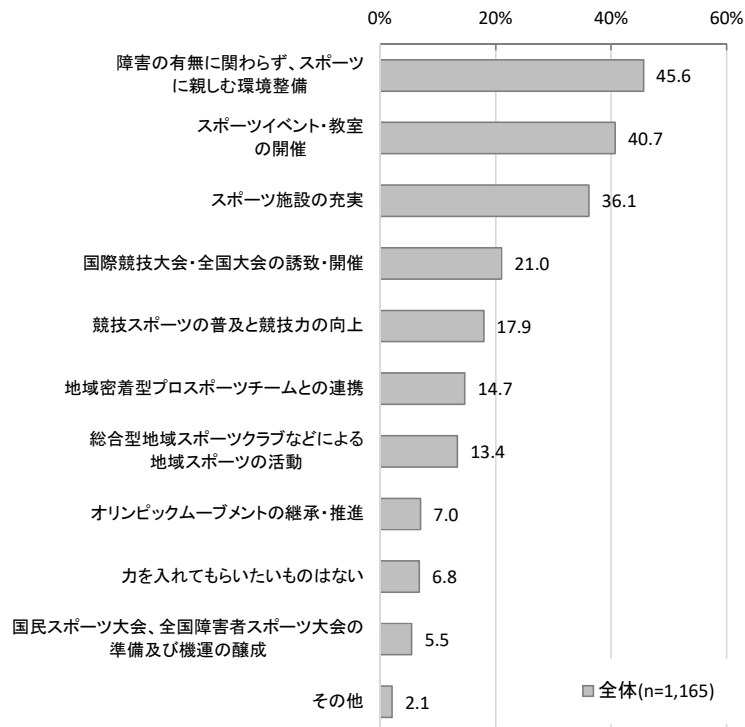
【用語解説】

- A 新規需要額：プロチームの試合およびクラブ運営によって新たに引き起こされた消費支出の総額
- B 直接生産誘発額：Aのうち、長野県内の生産によってまかなわれる額（自給される分）
- C 1次生産誘発額：直接生産誘発額によって引き起こされる県内全産業に対する影響の総額
- D 2次生産誘発額：1次生産誘発額までの過程で生まれた所得によって引き起こされる消費とそれに伴う生産波及の総額
- E 総合波及効果：B～Dの総計

(3) 本市のスポーツ振興に向けて

① スポーツ振興に向けて力を入れるべきこと（3つまで）

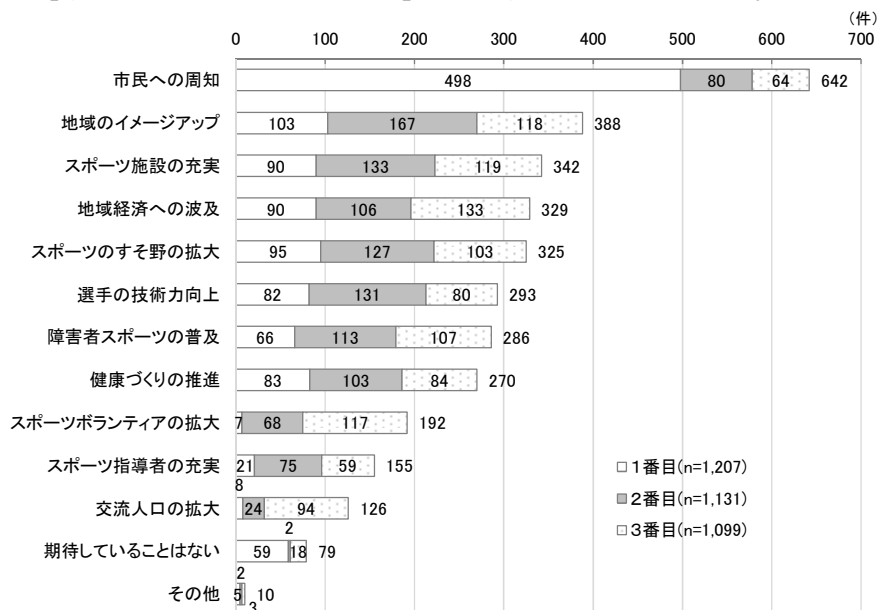
本市のスポーツ振興のために、「障害の有無に関わらず、スポーツに親しむ環境整備」、「スポーツイベント・教室の開催」、「スポーツ施設の充実」をあげる回答者が多くなっています。



出典：長野市スポーツ推進市民アンケート

② 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の開催に期待すること（上位3つ）

国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会に関連して、「市民への周知」、「地域のイメージアップ」、「スポーツ施設の充実」等が期待されています。



出典：長野市スポーツ推進市民アンケート

2 前回計画の評価と本市のスポーツ推進の現状・課題

本計画の施策の方向性を導出するため、前回計画の評価と本市のスポーツ環境の現状・課題をまとめます。

(1) だれもがスポーツを楽しめる環境づくりの推進

① 健康寿命の延伸に寄与する生涯スポーツの推進

施策の指標	実績値						目標値	単位
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	
週1回以上スポーツ活動を行っている成人の割合	59.1	54.7	55.9	56.1	59.9	59.9	65.0	%
週3回以上スポーツ活動を行っている成人の割合	29.3	24.7	25.5	24.4	27.1	27.0	30.0	%
主な取組								
1) 世代に応じた生涯スポーツプログラムの提供			3) スポーツに関する情報提供					
2) スポーツイベントの開催			4) スポーツ施設等の活用					
現状			課題					
- 市内の運動・スポーツ人口は横ばいである。 - 一方で、取組としては、世代に応じてスポーツ教室をはじめとする様々な取組が実施されている。 - 台風災害やコロナ禍でスポーツをする環境が制限される中、スポーツ実施率を維持できたのは、市民アンケートの結果から身近で気軽に実施できる運動を行ったと捉えることができる。 - 市民の多くは「運動・スポーツは大切なもの」と認識しており、スポーツ人口は増加していないものの、おおむね維持されていると捉えられる。市の様々な取組が、スポーツ人口の維持に貢献しているものと考えられる。			- 本市の高齢化率は、全国に比べると若干高い状態である。近年、健康寿命の延伸や社会保障費の抑制といった観点から、スポーツや運動による日常的な健康づくりが重要となる。 - 健康寿命の延伸のためには、フレイル予防など高齢者の健康の維持はもとより、勤労世代からの生活習慣病予防や、年少時からの健康な心身の育成が必要となる。その際、健康づくり施策、介護予防施策との役割分担も重要となる。					

② 地域における自主的なスポーツ活動の促進

施策の指標	実績値						目標値	単位
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	
総合型地域スポーツクラブの会員数	1,315	1,237	1,226	1,265	1,209	1,091	1,760	人
主な取組								
1) スポーツ推進委員の資質向上			3) 地域コミュニティ団体のスポーツ活動の促進					
2) 総合型地域スポーツクラブとの積極的な連携や協働								
現状			課題					
- 総合型地域スポーツクラブの会員数は縮小しているが、参加意向は45.0%となっている。 - 市民の運動・スポーツに対する関心は高いものの、「個人で自由に」「思い立った時に、気軽に実施したい」というニーズが高く、総合型地域スポーツクラブや地域コミュニティ団体による活動が広がらない状況が生まれていると考えられる。 - クラブの会員数が減少しているが、実施率は横ばい。組織・集団に属さずスポーツをする人が増加している。			- 世代や体力に応じたスポーツや運動の普及には、居住エリアに近い場所でスポーツをする場を増やしていくことが重要となる。スポーツ推進委員を養成するとともに、総合型地域スポーツクラブや公民館等と連携しながら草の根的なスポーツの広がりを促進していくことが重要となる。 - 長野市のスポーツ振興における、総合型地域スポーツクラブや地域コミュニティ団体の役割を再整理していくことが必要。その際、部活動の適正化等の動きを踏まえていくことは重要であり、役割に見合った活動支援を実施していくことが求められる。					

③ 障害者のスポーツ参加の機会拡大

施策の指標	現状値	実績値					目標値	単位
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	
長野市障害者スポーツ大会と講習会の参加人数	805	866	932	873	582	544	885	人

主な取組		
1) 障害者のスポーツ参加の機会拡大		
現状		課題
・長野市障害者スポーツ協会が開催したスポーツ大会、講習会、体験会の参加者数 ・H29 に所管が障害福祉課からスポーツ課に移管された。H29～30 はおおむね目標値に達しているが、R1は台風災害 R2はコロナ禍による影響によるものと考えられる。 ・障害者スポーツに関わったことがある市民は11.2%にとどまっている。 ・障害者スポーツの体験会やイベントが開催できれば、一定の参加者数は見込める状況である。普及・啓発効果を高めるためには、これまで関わったことのない市民に向けての情報発信を強化していく必要がある。		・障害者スポーツ以外のスポーツ関連団体とも連携しながら、効果的な情報発信をしていくことが求められる。

④ 競技力の向上と底辺の拡大

施策の指標	現状値	実績値					目標値	単位
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	
国体長野県勢における長野市出場者の占有率	12.9	16.6	14.8	15.2	13.7	12.1	15.5	%

主な取組		
1) 競技力の向上 2) 競技スポーツ人口の拡大		
現状		課題
・長野市の上場者は減少傾向にある。 ・すべての競技を底上げすることは難しい状況と捉えられる。 ・スケートを中心に全国大会や国際大会で入賞するアスリートが増えてきている。市民の誇りと喜びとなり、本市のスポーツ環境全体に活力を生み出している。		・競技人口の拡大、指導者の育成、競技団体の運営基盤の強化が求められる。 ・長野市に施設や指導者等が充実している強みのあるスポーツを中心に、長野市スポーツ協会と連携し競技力を向上させていくことも考えられる。その際、取組の実施計画を立て、成果を評価する等、効果的な施策にしていくための工夫も求められる。

⑤ スポーツ施設の計画的な整備・改修及び適正な管理運営

施策の指標	現状値	実績値					目標値	単位
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	
市民一人あたりの市有スポーツ施設利用回数	7.9	8.2	8.2	8.3	7.8	5.5	9.7	回

主な取組		
1) スポーツ施設の整備・改修 2) スポーツ施設の適正な管理・運営		
現状		課題
・R1～2の実績値は台風災害やコロナ禍による影響と考えられる。 ・地域の運動・スポーツの拠点として社会体育館が定着している。 ・人口減少社会の中で、公共施設の適正配置、長寿命化の必要性が高まっている。		・長野市公共施設等総合管理計画に沿って、適切に適正配置、長寿命化等を進めていく必要がある。 ・適正配置によって、運動・スポーツ人口が減らないよう、他のスポーツ振興施策を組み合わせながら、十分に配慮していくことが求められる。

(2) スポーツを通じた交流の拡大

① 国際大会や全国大会などの誘致・開催

施策の指標	現状値	実績値					目標値	単位
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	
国際大会・全国大会等の開催数	10	10	15	10	9	4	10	回

主な取組	
1) 国際大会や全国大会などの誘致・開催	2) 宿泊滞在型のスポーツイベントの促進
現状	課題
・ R1～2の実績値は台風災害やコロナ禍による影響と考えられる。 ・ 大規模施設が活用され国際大会・全国大会が毎年開催されている。 ・ 大会・スポーツイベント等の誘致が継続的に実施できる体制が整っている。アフターコロナを見据えて、今後も誘致を行っていくことが求められる。	・ ながの観光コンベンションビューローや各競技団体等と連携しながら、引き続き誘致していく。

② 長野Uスタジアム入場者数

施策の指標	現状値	実績値					目標値	単位
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	
長野Uスタジアム入場者数	171,228	152,768	154,669	116,948	90,838	62,403	251,500	人

主な取組	
1) AC長野パルセイロとの連携	2) 広域での連携による交流人口の拡大
現状	課題
・ AC 長野パルセイロのホームゲームが行われる長野Uスタジアムの入場者数は年々減少傾向にあるが、R1～2は台風災害やコロナ禍の影響が考えられる。 ・ 一方で、地域密着型プロスポーツチームとの様々な連携事業を実施している。 ・ 連携事業の成果が十分に出ていないと考えられる。事業効果を検証し、選択と集中の考え方で事業内容を精査していく必要がある。	・ 連携事業が相乗効果を生み、互いが目指す成果に見える化していくことが重要である。

③ オリンピック教室の延べ受講者数

施策の指標	現状値	実績値					目標値	単位
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	
オリンピック教室の延べ受講者数	296	342	533	682	879	1,084	900	人

主な取組	
1)オリンピックムーブメントの継承	2)東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会との連携
現状	課題
・オリンピック教室が毎年開催され、延べ受講者数が増えている。 ・オリンピックデーランが毎年開催されている。	・オリンピックムーブメントは、複数の施策を横断しながら、長野市の特徴を出していくための視点として、計画の中での位置づけを見直していくことが必要である。

第 3 章 本市スポーツの理念と方向性

1 総合計画におけるスポーツ分野

総合計画では、目指すまちの将来像「幸せ実感都市『ながの』～“オールながの”で未来を創造しよう～」を実現するために22の政策を設定しています。本計画は、教育・文化分野の政策である、

『スポーツを軸としたまちづくりの推進』

を具体化する個別計画です。

2 基本理念

スポーツは、体を動かすことそのものを楽しむということに加えて、健康を増進する、まちへの誇りと愛着を高める、交流人口を増やす、地域経済を活性化する等、まちづくりの視点において多面的な効果を有しています。

このような効果を高めることで、スポーツ分野から総合計画が目指すまちの将来像の実現に寄与していくことを目指して、基本理念を以下のように設定します。

『スポーツの力で未来をつくるまち NAGANO』

〈目指す姿〉

市民一人ひとりが、自分に合った関わり方（「する」、「観る」、「つながる」）でスポーツを楽しんでいる状態を目指します。

また、そのような活動が集まることで、健康寿命が延伸され、まちへの誇りと愛着が高まり、交流人口が増え、地域経済が活性化している状態を目指します。

3 基本理念の実現に向けた本市の特徴

(1) オリンピック・パラリンピックムーブメント

本市は、長野オリンピック・パラリンピック冬季競技大会を開催したことによる有形無形の財産を有する、という独自の特徴があります。

日本オリンピック委員会との「パートナー都市協定⁶」、充実したスポーツ施設群、スポーツを支える市民等、スポーツ活動の基盤となる本市ならではの資源を活かした施策を展開していくことが求められます。

⁶ パートナー都市協定

JOCと長野市で締結した、オリンピックムーブメントの推進と国際競技力向上及びスポーツ振興を目的とした協定のこと。（30都市）

(2) 地域密着型プロスポーツチーム

本市では、4つの地域密着型プロスポーツチーム（AC長野パルセイロ、AC長野パルセイロ・レディース、ボアルース長野フットサルクラブ、信州ブレイブウォリアーズ）が活動しています。

地域に根差した活動を展開しながら、スポーツ人口を増やすことに取り組むプロスポーツチームと十分に連携し、プロスポーツチームがあることの強み（人材・ノウハウの蓄積、情報発信力等）を活かした施策を展開していくことが求められます。

4 本市のスポーツ施策の方向性

(1) だれもがスポーツを楽しめる環境づくりの推進

市民がそれぞれの体力や年齢、技術、興味、目的に応じて、スポーツに親しむことができる環境を維持・充実していくことが求められます。また、スポーツを通じて共生社会の実現に寄与していくことも重要です。さらに、本市のスポーツ環境全体に活力を生み出すため、各種競技スポーツの普及と競技力の向上に関する取組も重要です。

① スポーツ人口の拡大

多様なスポーツプログラムを通じて、市民がスポーツに親しむきっかけづくりを推進します。また、習慣化に向けて、世代に応じたスポーツに関する情報の発信を強化していきます。

② 地域における自主的なスポーツ活動の促進

総合型地域スポーツクラブ、スポーツ推進委員を通じて、地域における自主的なスポーツ活動を促進します。また、スポーツ活動の満足度や運動効果を高めるための支援を推進します。

③ スポーツを通じた共生社会の実現

健康づくり施策、介護予防施策等と連携しながら、スポーツを通じた健康増進や健康寿命延伸に資する取組を推進します。また、障害者スポーツの普及及び理解を一層深める取組を推進します。

④ 競技スポーツの普及と競技力の向上

長野市スポーツ協会との連携により、競技団体の運営基盤の強化、自主的な活動の支援、各種競技の普及、選手育成・タレント（才能、素質）発掘を推進します。また、スケート競技の拠点化を推進します。

⑤ スポーツ施設の適正配置・長寿命化と管理・運営

スポーツ施設の適正配置・長寿命化を計画的に進めます。また、利用者ニーズを踏まえ、だれもが使いやすい環境づくりに取り組みます。

(2) スポーツを通じた交流拡大の推進

スポーツにより、市民の本市に対する誇りと愛着を高め、さらに交流人口を増やしていくために、地域密着型プロスポーツチームとの連携や長野オリンピック・パラリンピック冬季競技大会開催都市である本市が有する有形無形のスポーツ資源の活用が求められます。

① 地域密着型プロスポーツチームとの連携の推進

連携推進ビジョン⁷に基づき地域密着型プロスポーツチームとの協働による地域の活性化を推進します。

② 国際大会や全国大会などの誘致・開催

大規模スポーツ施設を活用した、国際大会や全国大会などの誘致・開催、長野マラソンや全国中学校スケート大会の継続開催などを通して、交流人口の拡大を促進します。また、令和10年（2028年）の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の開催準備に取り組めます。

③ オリンピック・パラリンピックムーブメントの推進

オリンピック・パラリンピックの資産を活用しながら、オリンピック・パラリンピックムーブメントを継承していきます。

⁷ 連携推進ビジョン

長野市と4つのプロスポーツチームが連携して効果的かつ効率的に「スポーツを軸としたまちづくり」に取り組むために

① 目標の設定

② 活動の方向性

③ 評価・改善

を目的とした長野市及び各チームが共通して目指す将来構想

5 施策体系

施策	大項目	小項目
施策1	だれもがスポーツを楽しめる環境づくりの推進	
	施策1-1 スポーツ人口の拡大	
	(1) スポーツを始めるきっかけづくり	①多様なスポーツイベントの開催 ②スポーツ施設の無料開放
	(2) 世代に応じた生涯スポーツプログラムの提供	①子ども世代のスポーツ活動の充実 ②大人世代のスポーツの習慣化の促進 ③大学等の研究機関と連携した研究
	(3) スポーツに関する情報提供の充実	①スポーツ教室やイベントに関する情報提供 ②サークルやスポーツ指導者に関する情報提供 ③スポーツ施設に関する情報提供
	施策1-2 地域における自主的なスポーツ活動の促進	
	(1) 総合型地域スポーツクラブとの連携の推進	①総合型地域スポーツクラブが実施するスポーツ活動への支援 ②総合型地域スポーツクラブの運営基盤の強化
	(2) スポーツ推進委員によるスポーツ活動の促進	①スポーツ推進委員によるスポーツ活動の促進
	(3) 地域コミュニティ団体のスポーツ活動の促進	①住民自治協議会等が実施するスポーツ活動の促進 ②公民館におけるスポーツ活動の推進
	施策1-3 スポーツを通じた共生社会の実現	
	(1) スポーツを通じた健康増進	①生活習慣病予防との連携の推進 ②フレイル・介護予防との連携の推進
	(2) 障害者のスポーツ参加の機会拡大	①関係機関との連携 ②障害者スポーツの普及・振興 ③だれもが使いやすい施設づくりと利用促進
	(3) 障害者スポーツを通じた相互理解	①障害者スポーツを通じた相互理解の推進
	施策1-4 競技スポーツの普及と競技力の向上	
	(1) 競技スポーツの普及・拡大	①競技人口の拡大 ②選手育成・タレント（才能、素質）発掘
	(2) 競技力の向上	①長野市スポーツ協会との連携・協力体制の強化 ②スケート競技の拠点化の推進 ③地域密着型プロスポーツチームとの連携
	施策1-5 スポーツ施設の適正配置・長寿命化と管理・運営	
	(1) スポーツ施設の適正配置と長寿命化の推進	①長野市公共施設個別施設計画の推進
	(2) スポーツ施設の管理・運営	①スポーツ施設の利用者ニーズの把握 ②スポーツ施設の設備等の更新 ③適正な管理・運営
	(3) 令和10年(2028年)の国民スポーツ大会等に向けた準備	①競技会場の検討と整備
施策2	スポーツを通じた交流拡大の推進	
	施策2-1 地域密着型プロスポーツチームとの連携の推進	
	(1) 地域密着型プロスポーツチームとの連携	①「する」スポーツでのポジティブサイクル（好循環）づくり ②「観る」スポーツでのポジティブサイクルづくり ③「つながる」スポーツでのポジティブサイクルづくり ④「連携推進ビジョン」の推進
	施策2-2 国際大会や全国大会などの誘致・開催	
	(1) 国際大会や全国大会などの誘致・開催	①大規模施設を有効活用した国際大会や全国大会の誘致・開催
	(2) 宿泊滞在型のスポーツイベントの促進	①宿泊滞在型のスポーツイベントの継続開催 ②関係団体との連携
	(3) 令和10年(2028年)の国民スポーツ大会等に向けた機運醸成	①国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会に向けた機運醸成
	施策2-3 オリンピック・パラリンピックムーブメントの推進	
	(1) オリンピック・パラリンピックムーブメントの継承	①長野オリンピック・パラリンピック冬季競技大会を契機とした有形無形の財産の活用
	(2) 開催都市間の連携	①開催都市間の連携

第4章 施策の展開と具体的な取組

施策１ だれもがスポーツを楽しめる環境づくりの推進

市民だれもが、いつでも、どこでも気軽にスポーツを楽しむために、それぞれの地域や目的に合ったスポーツの環境づくりを推進します。

施策指標	現状値（R2）	目標値（R8）
スポーツ実施率	59.9%	65.0%

背景と課題

●スポーツ人口の拡大

近年、市内のスポーツ・運動人口（週1回以上スポーツ活動を行っている成人：59.9%（令和2年度））は横ばいで推移しています。一方で、スポーツに関するアンケート調査（令和2年度）では、市民の79.7%が「スポーツ・運動は大切・まあまあ大切」と認識しています。また、コロナ禍の中、気軽に実施できるスポーツ・運動への関心が高まるなどニーズが多様化しています。スポーツ・運動をしたいと思う市民が、スポーツ・運動に取り組めるようにしていくことが求められます。

●地域における自主的なスポーツ活動の促進

世代や体力に応じたスポーツや運動の普及には、居住エリアに近い場所でスポーツをする場を増やしていくことが重要です。スポーツ推進委員を養成するとともに、総合型地域スポーツクラブや公民館等と連携しながら草の根的なスポーツの広がりを促進していくことが重要です。

●スポーツを通じた共生社会の実現

健康寿命の延伸や社会保障費の抑制といった観点から、スポーツや運動による日常的な健康づくりが求められています。

障害のある方もない方も、体の特徴や体力に合わせながら、スポーツ参加できる環境を整えていくことが重要です。

●競技スポーツの普及と競技力の向上

競技人口が増えることで、本市スポーツの競技力が全体的に向上し、上位大会で活躍するアスリートが増え、また競技人口が増えるという循環をつくっていくことが重要です。中学校の部活動の適正化が求められている中、競技団体や総合型地域スポーツクラブなどと連携してスポーツを普及していくこと、スポーツ指導者を確保するとともに、資質の向上が求められます。

●スポーツ施設の適正配置・長寿命化と管理・運営

人口減少が進む中、将来世代に負担を先送りすることなく、より良い資産を次世代に引き継いでいくための、適正配置・長寿命化の必要性が高まっています。また、市民ニーズを踏まえた施設の管理・運営を推進していくことが求められます。

施策1-1 スポーツ人口の拡大

多様なスポーツプログラムを通じて、市民がスポーツに親しむきっかけづくりを推進します。また、習慣化に向けて、世代に応じたスポーツに関する情報の発信を強化していきます。

施策指標	現状値（R2）	目標値（R8）
スポーツ教室の参加者数	1,266 人	1,330 人

(1) スポーツを始めるきっかけづくり

1人でも多くの市民がスポーツを始めることを目指して、生涯スポーツの動機づけとなるような多様なスポーツイベントを開催します。

① 多様なスポーツイベントの開催

子どもから高齢者まで、だれもが参加できる魅力あるイベントを開催します。

主な取組		担当課
a	NAGANOスポーツフェスティバル、パラ★スポーツデーの開催 総合型地域スポーツクラブ、長野市障害者スポーツ協会、地域密着型プロスポーツチーム等との連携により、スポーツ・レクリエーションに親しむ機会の提供や情報発信を充実し、イベントの魅力を高めます。	スポーツ課
b	多様なスポーツイベントの開催(オリンピックデーラン・ロゲイニング等) 関係団体等と連携し、スポーツを楽しみ、継続した活動に繋げていくためのイベントを開催します。	スポーツ課

② スポーツ施設の無料開放

有料のスポーツ施設について、一部を大会等の利用に影響のない範囲で無料開放し、利用を促進します。

主な取組		担当課
a	スポーツ施設の無料開放 〈1月1日〉 長野運動公園の一部を開放します。 〈市民スポーツの日〉 毎月第三日曜日に、長野運動公園及び南長野運動公園の一部施設、市民プール、テニスコート等を開放します。 〈長野オリンピック記念平和とスポーツの日〉 2月第一日曜日に、長野運動公園及び南長野運動公園の一部施設、テニスコート等を開放します。 〈スポーツの日〉 10月第二月曜日に、長野運動公園及び南長野運動公園の一部施設、テニスコート等を開放します。	スポーツ課
b	冬季スポーツに親しむ機会の創出 戸隠スキー場は毎月第3日曜日に、小学生以下のリフト代を無料にします。 また、エムウェーブをスケート滑走期間中に月1回程度、無料開放します。	観光振興課 スポーツ課

(2) 世代に応じた生涯スポーツプログラムの提供

関係機関や関係課と連携し、子どもから高齢者まで、各年代のライフスタイルや体力を考慮し、生涯継続してスポーツに親しめ、健康寿命の延伸が図れるスポーツプログラムを提供します。

① 子ども世代のスポーツ活動の充実

家庭、地域、学校が連携し、子どもたちが安全、安心な環境でスポーツ活動を行う機会を充実することにより、子どもたちがスポーツや運動を楽しみ、成長する機会を持てるように、継続的にスポーツに取り組める環境を整えます。

主な取組		担当課
a	スポーツ教室の開催(子ども・保護者) 各地域の環境を活かした継続しやすいスポーツや、各地域で盛んなスポーツ、人気の高いスポーツ等、地域の特性に応じた様々なスポーツ教室を総合型地域スポーツクラブ、スポーツ施設の指定管理者 ⁸ 、地域密着型プロスポーツチーム及び関係各課との連携・協力により実施します。各種スポーツ教室においては、会場となる施設の特徴を十分に活かした企画になるよう取り組みます。	スポーツ課
b	子どもの健康・体力の保持向上 生きる力の基盤となる、たくましく生きる健康・体力を育みます。 また、幼保小の連携により、運動と遊びのプログラムを普及推進します。 (関連計画:しなのきプラン)	保育・幼稚園課 学校教育課
c	学校におけるスポーツ活動の充実 小中学校の体育・保健体育の授業において、心身の発達段階や、個々の能力に合わせながら、スポーツの楽しさや喜びを味わうことのできる活動の充実を図ります。 (関連計画:長野市教育振興基本計画)	学校教育課
d	小学校の放課後における体力向上の機会の充実 学校・地域と連携して子どもたちの安全、安心な居場所を確保するとともに、遊びやスポーツなど多様な活動の機会を提供してルールやマナーを身に付け、体力等の向上に繋がります。 (関連計画:長野市子ども・子育て支援事業計画)	こども政策課
e	中学校の部活動の適正化 部活動等は生徒にとって心身ともに健やかに成長していく上で重要な活動です。スポーツ庁が進める「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について」の方針に沿って、部活動の適正化を推進します。 (関連計画:しなのきプラン)	学校教育課 スポーツ課

⁸ 指定管理者

公の施設の管理運営を市が指定した民間事業者（＝指定管理者）に行わせるもの。民間の効果的・効率的な手法の活用により、経費の削減や利用者に対するサービスの向上が見込まれる。

② 大人世代のスポーツの習慣化の促進

大人世代の健康増進、リフレッシュ、生きがい・仲間づくり等のため、スポーツや運動を楽しむ実践する機会を提供します。

主な取組		担当課
a	スポーツ教室の開催(大人世代) 大人世代の健康増進やリフレッシュ、また高齢者の健康づくり、生きがいづくり、仲間づくりに重点を置いたスポーツ教室等を開催します。実施にあたっては、ターゲットが参加しやすい企画・情報発信を行います。 また、地域密着型プロスポーツチームやスポーツ施設の指定管理者等と連携し、教室の魅力を高めます。さらに、総合型地域スポーツクラブや競技団体のクラブチーム等に関する情報発信を積極的に行い、スポーツの習慣化を促進します。	スポーツ課 商工労働課 高齢者活躍支援課 健康課 家庭・地域学びの課
b	身近な場所での運動の促進 普段の生活の中で無理なく体を動かす習慣をつくるために、自宅や身近な公園等でできるスポーツや運動に関する情報発信を行います。	スポーツ課 健康課 地域包括ケア推進課

③ 大学等の研究機関と連携した研究

健康寿命の延伸や生活習慣病の予防に資する独自のスポーツプログラムを開発します。

主な取組		担当課
a	スポーツプログラムの開発 大学等の研究機関と連携し、世代や年齢、体力に応じた医科学的で効果的なスポーツプログラムを研究します。多様なメニューを揃えながら、生涯を通じて一貫した考え方で健康づくりができる独自プログラムの開発を目指します。	スポーツ課

(3) スポーツに関する情報提供の充実

スポーツに関する様々な情報を提供することにより、市民がスポーツに親しむきっかけづくりを推進します。

① スポーツ教室やイベントに関する情報提供

多様な媒体を利用して、スポーツ教室やイベントに関する情報の発信を行います。

主な取組		担当課
a	きめ細やかな情報の発信 スポーツ施設の情報やスポーツ教室やスポーツ大会など、スポーツに親しむ動機づけとなる身近な情報を発信します。 市報(広報ながの)による全世帯に向けた情報発信、ホームページやSNSによるタイムリーな情報発信、新聞・テレビ・ラジオ・記者会見・報道機関等を活用した多角的な情報発信等、様々な情報媒体を用いて効果的に情報を届けます。	スポーツ課
b	関係団体と連携した情報の発信 総合型地域スポーツクラブや地域密着型プロスポーツチーム等と連携し、多様な情報を発信します。	スポーツ課
c	スポーツ大使の活用 「ながのご縁スポーツ大使」を任命し、活用することで、市民のスポーツイベントへの参加を促し、スポーツの楽しさを伝えるとともに、運動の習慣化を促進します。	スポーツ課

② サークルやスポーツ指導者に関する情報提供

市内各地で活動するスポーツ指導者やサークルに関する情報をインターネットを介して発信し、身近な場所で興味のあるスポーツに出会う機会をつくります。

主な取組		担当課
a	市ホームページのスポーツ関係コーナー等の充実 長野市スポーツ少年団や市内で活動するスポーツクラブ等の紹介・募集案内や、スポーツ指導を行う人材の案内を充実します。	スポーツ課

③ スポーツ施設に関する情報提供

市民だれもが利用できる社会体育館や運動場、ウォーキングコースやトレッキングコースなどについて、情報提供を行い、市民のスポーツ活動を支援します。

主な取組		担当課
a	「長野市施設案内予約システム」の充実 スポーツ施設の概要や予約状況に関する情報を、インターネットでわかりやすく提供します。	スポーツ課
b	ウォーキングコース・トレッキングコース等のPRと活用 市内のトレッキングコースやノルディックウォーキングコース(スパイラル)などについて市のホームページ・市報等により周知を図るとともに、トレッキング等のイベントを支援して利用のきっかけづくりに取り組みます。	観光振興課 スポーツ課

施策1-2 地域における自主的なスポーツ活動の促進

地域の特性に応じたスポーツコミュニティを通して、地域における自主的なスポーツ活動を促進します。

施策指標	現状値（R2）	目標値（R8）
総合型地域スポーツクラブの会員数	1,091 人	1,150 人

(1) 総合型地域スポーツクラブとの連携の推進

総合型地域スポーツクラブの創設等を支援するとともに、各クラブの活動と積極的な連携や協働を図ることで、クラブの安定的運営を促し、地域スポーツを振興します。

① 総合型地域スポーツクラブが実施するスポーツ活動への支援

生涯にわたってスポーツを楽しむことができる「場」を地域につくり、地域に定着させることにより生涯スポーツ社会の創出に貢献することを目指します。

主な取組		担当課
a	総合型地域スポーツクラブが実施するスポーツ教室の情報発信 地域の特性に応じた様々なスポーツ教室を総合型地域スポーツクラブと連携して実施します。	スポーツ課
b	役割分担による安定したスポーツ教室の開催 話題性があるなど、試行的や新たに開催するスポーツ教室について、総合型地域スポーツクラブに移行し定着した教室開催に繋げていくなど、役割分担により連携を強化します。	スポーツ課

② 総合型地域スポーツクラブの運営基盤の強化

総合型地域スポーツクラブの運営等を支援します。また、クラブ間の情報交換の場をつくり、クラブ同士や市との連携や協働を促進します。

主な取組		担当課
a	総合型地域スポーツクラブの運営等に対する支援 総合型地域スポーツクラブの運営等に対し、既存クラブのノウハウや課題を共有する等の連携を図ります。	スポーツ課
b	総合型地域スポーツクラブのネットワーキング 〈長野市総合型地域スポーツクラブ連絡会〉 市内の総合型地域スポーツクラブ間及び本市との情報交換の場をつくり連携を強化します。 〈長野県・北信総合型地域スポーツクラブ連絡協議会〉 長野県内、北信地域の総合型地域スポーツクラブ間及び自治体との情報交換の場に参加し、クラブの継続的な運営のための情報交換等の連携を強化します。	スポーツ課

(2) スポーツ推進委員によるスポーツ活動の促進

地域のスポーツのコーディネーターとしての役割を果たすため、スポーツ推進委員の活躍の場を提供します。

① スポーツ推進委員によるスポーツ活動の促進

スポーツ推進委員の資質を向上するため、スポーツ推進委員協議会の充実を図り、研修会等を積極的に開催します。

主な取組		担当課
a	スポーツ推進委員に対する研修会の開催 スポーツ推進委員の自主企画による研修会において主体的な学びを行うとともに、国・県協議会等が開催する関連研修会について案内を行います。	スポーツ課
b	地域における各種スポーツイベントの開催及び運営 住民自治協議会等と連携しながら、地域において教室や大会及び研修会等の自主事業の開催を促進します。	スポーツ課

(3) 地域コミュニティ団体のスポーツ活動の促進

住民自治協議会や地域公民館等からのスポーツに関する要望に答え、自発的な地域スポーツを振興します。

① 住民自治協議会等が実施するスポーツ活動の促進

地域スポーツの振興及び地域コミュニティの形成を推進し、地域の自発的なスポーツの取組を後押しします。

主な取組		担当課
a	出前講座の開催 住民自治協議会等から、子どもや高齢者など世代間で楽しめるニュースポーツ ⁹ 等の講座開催の要望に基づき、スポーツ推進委員や総合型地域スポーツクラブが出張し講座を開催します。	スポーツ課
b	地域のリーダー育成のための講習会 長野市スポーツ協会の指導者や、スポーツ教室の指導員等を対象とした研修会の実施、県等が実施する研修会の紹介を行います。	スポーツ課
c	スポーツ用具等の貸出し 地域の要望に応じてニュースポーツ等のスポーツ用具や機器の貸出しを行うことで、スポーツの動機づけを促進します。	スポーツ課

⁹ ニュースポーツ

“新しいスポーツ”という意味と“ニューコンセプトスポーツ”という意味を持ち、年齢や体力に関係なく「だれでも・いつでも・どこでも」「気軽に・楽しく・安全に」「自分の能力や体力に応じて」「生涯を通して実践できる」スポーツのこと。ペタンク、スマイルボーリング等がある。

② 公民館におけるスポーツ活動の推進

公民館を拠点に、地域住民の健康づくりを推進します。

主な取組		担当課
a	公民館における取組の推進 市立公民館や地域公民館において、地域住民を対象にスポーツや運動を通じた健康づくり等の講座、教室を開催します。	家庭・地域学びの課 スポーツ課

施策1-3 スポーツを通じた共生社会の実現

健康づくり施策、介護予防施策等と連携しながら、スポーツを通じた健康増進や健康寿命延伸に資する取組を推進します。また、障害者スポーツの普及及び理解を一層深める取組を推進します。

施策指標	現状値（R2）	目標値（R8）
NAGANOパラ★スポーツデーへの参加者数	400 人	1,000 人

(1) スポーツを通じた健康増進

関係機関や関係課と連携し、健康寿命の延伸に繋がるスポーツ活動の場を提供します。

① 生活習慣病予防との連携の推進

ながの健やかプラン 21（第三次長野市健康増進計画・第三次長野市食育推進計画）と連携し、健康やスポーツへの無関心層を取り込み、継続的なスポーツ活動の推進や健康への意識を高めます。

主な取組		担当課
a	生活習慣病予防等に繋がる運動教室・講座等の開催 生活習慣病予防など市民の健康づくりのため、自らの健康に対する関心を高め、健康的な生活習慣を実践するきっかけづくりとして、健康教室や運動講座の開催、体力測定等を実施します。 (関連計画:ながの健やかプラン21)	健康課 スポーツ課

② フレイル・介護予防との連携の推進

あんしんいきいきプラン 21（第9次長野市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画）と連携し、スポーツや運動を実践することにより、社会参加の促進と健康づくりを進めます。

主な取組		担当課
a	スポーツ教室の開催(再掲) 高齢者の健康づくり、生きがいづくり、仲間づくりに重点を置いたスポーツ教室を実施します。	スポーツ課 高齢者活躍支援課 健康課 家庭・地域学びの課
b	フレイル予防や介護予防につながる運動等講座の実施 高齢者を中心に、住民同士で運動や脳トレ・レクリエーションなどの活動を実施する自主的なグループの立上げや活動を支援するため、地域公民館などに専門職を派遣します。 (関連計画:あんしんいきいきプラン21)	地域包括ケア推進課

(2) 障害者のスポーツ参加の機会拡大

関係機関や団体と連携し、障害の有無によって分け隔てられることなく、全ての人がスポーツに親しむ機会づくりや環境整備を促進します。

① 関係機関との連携

長野市障害者スポーツ協会などと連携・協力し、障害者のスポーツ参加の環境を整えます。

主な取組		担当課
a	障害者スポーツを支える環境づくり 障害者スポーツに関する情報発信を強化するとともに、長野市障害者スポーツ協会との連携による競技団体同士の連携、ボランティア団体との連携等を促進します。	スポーツ課

② 障害者スポーツの普及・振興

障害者スポーツの各種大会を開催して、障害者スポーツに触れ、体験する機会を設け、障害者スポーツの普及・振興を促進します。

主な取組		担当課
a	障害者スポーツの普及 障害者スポーツの大会（長野市障害者スポーツ大会、長野車いすマラソン大会等）や、障害者スポーツ指導員やスポーツ推進委員が開催する障害者スポーツの体験会等の各種講習会を支援し、市民が障害者スポーツに触れる機会を拡大していきます。	スポーツ課
b	障害者スポーツ用具の貸出し 障害者スポーツ用具を貸出すことで、障害者スポーツの普及を推進します。	スポーツ課

③ だれもが使いやすい施設づくりと利用促進

ユニバーサルデザイン・バリアフリーの視点を踏まえて障害者の利用に配慮したスポーツ施設の整備を行います。

主な取組		担当課
a	長野市障害者基本計画に基づく施設づくり 施設の整備・改修の際に「バリアフリー新法」等を踏まえた設計を行い、スポーツ施設のユニバーサルデザイン・バリアフリー化を推進します。 (関連計画:長野市障害者基本計画)	スポーツ課 障害福祉課
b	障害者のスポーツ施設の利用に対する使用料の減免 障害者と介護者及び引率者に対して施設使用料を減免し、スポーツ活動を支援します。 (関連計画:長野市障害者基本計画)	スポーツ課

(3) 障害者スポーツを通じた相互理解

障害者スポーツを通じた相互理解を深める取組を推進します。

① 障害者スポーツを通じた相互理解の推進

長野市障害者スポーツ協会など関係機関と連携・協力し、障害者スポーツを通じた相互理解を深める取組を推進します。

主な取組		担当課
a	NAGANOパラ★スポーツデーの開催 長野市障害者スポーツ協会など関係機関と連携・協力しNAGANOパラ★スポーツデーを開催し、障害者スポーツを通じた相互理解を深める取組を推進します。	スポーツ課
b	パラスポーツ出前講座の実施 長野県障がい者スポーツ協会と連携し、パラリンピアンなどの指導者が小・中学校に出張し、パラスポーツの講演会・実技・体験会などを実施し、共生社会・学校の多様性・包摂 ¹⁰ 性を高める教育の充実を図ります。	学校教育課 スポーツ課
c	パラウェーブNAGANOとの連携 県が実施する「パラウェーブNAGANO」と連携し、パラスポーツを推進し、お互いを尊重し合う共生社会の実現を目指します。	学校教育課

¹⁰ **包摂**
包み込む。誰もが社会に参画する機会を持ち、排除されないこと。

施策1-4 競技スポーツの普及と競技力の向上

長野市スポーツ協会との連携により、競技団体の運営基盤の強化、自主的な活動の支援、各種競技の普及、選手育成・タレント（才能、素質）発掘を推進します。また、スケート競技の拠点化を推進します。

施策指標	現状値（R2）	目標値（R8）
競技団体の登録者数	18,120 人	19,000 人

(1) 競技スポーツの普及・拡大

競技団体や行政内の関係機関と連携することで、各種スポーツの競技人口の拡大や競技のきっかけづくりを支援します。

① 競技人口の拡大

各種競技人口の拡大を支援します。

主な取組		担当課
a	各種競技の普及・交流への支援 長野市スポーツ協会や競技団体が行う各種競技ごとのスポーツ教室や体験会、交流会等を支援するとともに、クラブチーム等の情報発信を行い加入を促進することで、競技人口の拡大を図ります。	スポーツ課
b	小中学生を対象としたクラブチームの充実 長野市スポーツ協会と連携し、競技団体の小中高一貫指導による、世代別強化体制を充実するためのクラブの設立や活動場所の確保、強化策への側面的な支援を行います。	スポーツ課

② 選手育成・タレント（才能、素質）発掘

子どもたちの可能性を引き出し、未来の選手を育成するプロジェクトを支援し、広域的な視点からの競技力向上の推進に努めます。

主な取組		担当課
a	長野市ジュニアスピードスケート選手強化・育成プログラム(ドリームリンクNagano)への支援 スケートをする子どもたちを増やし、ジュニア選手を発掘するため、元日本代表選手を指導者に迎えた初心者向けスケート教室の開催を支援します。	スポーツ課
b	県が実施するタレント発掘事業(SWANプロジェクト)への協力 冬季種目において、優れた才能、素質を持った子どもたちを組織的・計画的に発掘し、一貫指導システムに基づく強化育成プログラムへ協力します。	スポーツ課

(2) 競技力の向上

関係機関等との連携を強化することで、競技団体や各種スポーツ団体の運営基盤及び選手強化を図ります。

① 長野市スポーツ協会との連携・協力体制の強化

長野市スポーツ協会との連携や協力体制を強化することで、多角的なアプローチにより競技人口の拡大・競技力向上などを図ります。

主な取組		担当課
a	競技団体などの運営基盤強化への支援 長野市スポーツ協会加盟団体が実施する、 <u>競技人口の拡大、競技の普及・振興、運営基盤強化、競技力向上のための事業への支援を行います。</u> <u>また、指導者のインテグリティ(誠実性、健全性、高潔性)の向上やコンプライアンスの徹底などを促進します。</u>	スポーツ課
b	国際大会・全国大会に向けた選手育成 本市で育ったアスリートが国際大会や全国大会で活躍するため、競技団体や各種スポーツ団体と連携して、専門的な指導が受けられる環境とのマッチングを支援します。	スポーツ課
c	全国大会等への出場に対する激励金の交付 全国大会等への出場者や出場団体に対して激励金を交付し、上位大会への出場を支援します。	スポーツ課

② スケート競技の拠点化の推進

長野オリンピック開催を契機とした冬季スポーツの振興に向け、エムウェーブのスケートリンクの有効活用と全国中学校スケート大会の継続開催を機に、(株)エムウェーブ、競技団体、長野市スポーツ協会、長野市が主体となり、スケート競技の普及と選手強化を支援し、スケート競技の拠点化を推進します。

主な取組		担当課
a	スケート競技の専門家の継続した配置 競技人口の拡大や地域のジュニア選手の育成等に総合的に取り組むためにスポーツ課にスケート競技の専門家を配置します。	スポーツ課
b	エムウェーブスケートクラブを通じたスピードスケートの競技力向上 スケート競技の普及と強化を目的とし、一貫指導体制のモデル事業を支援します。	スポーツ課
c	国内トップレベルの大会や国際大会の開催 全国中学生スケート大会、全日本スピードスケート距離別選手権大会、ジャパンカップスピードスケート競技会等の大会を誘致・開催します。	スポーツ課

③ 地域密着型プロスポーツチームとの連携

地域密着型プロスポーツチームとの連携や協力により、競技力の向上を図ります。

主な取組		担当課
a	市内のチームへのコーチの派遣や教室の開催 地域密着型プロスポーツチームへの委託事業として、コーチの派遣や教室の開催などスポーツ交流事業を実施します。また、長野広域連合主催のスポーツ交流事業を市内の幼稚園・保育所等及び小学校へ周知します。	スポーツ課 学校教育課 保育・幼稚園課

施策1-5 スポーツ施設の適正配置・長寿命化と管理・運営

スポーツ施設の適正配置・長寿命化を計画的に進めます。また、利用者ニーズを踏まえ、だれもが使いやすい環境づくりに取り組みます。

(1) スポーツ施設の適正配置と長寿命化の推進

長野市公共施設マネジメント指針に基づき、スポーツ施設のあり方を検討しながら、計画的に整備・改修します。

① 長野市公共施設個別施設計画の推進

長野市公共施設個別施設計画に基づき、スポーツ施設の適正配置・長寿命化を推進します。

主な取組		担当課
a	適正配置の推進 個別施設計画に基づき、利用率や老朽度、近隣の類似施設の有無などの状況を踏まえ、スポーツ施設の適切な保全と最適な配置を推進します。 (関連計画:長野市公共施設個別施設計画)	スポーツ課
b	長寿命化改修の実施 個別施設計画により、長寿命化に区分されたスポーツ施設は、老朽化の状況に応じて長寿命化のための改修工事を計画的に実施します。 (関連計画:長野市公共施設個別施設計画)	スポーツ課

(2) スポーツ施設の管理・運営

スポーツ施設の利用者が、快適で安全に利用できるスポーツ環境を提供するとともに、受益者負担の割合を検討しながら、継続的なサービスを提供していきます。

① スポーツ施設の利用者ニーズの把握

市民や施設管理者、スポーツ関係者などからの意見等を集約し、施設の整備・改修に反映していきます。

主な取組		担当課
a	スポーツ施設の利用者ニーズの把握 スポーツ施設ごとに指定管理者が利用者に対してアンケートを実施し、利用目的、施設の評価・改善点等を把握します。また、各競技団体やスポーツ推進委員、総合型地域スポーツクラブ等へのヒアリングにより、施設の評価・改善点等を把握します。	スポーツ課

② スポーツ施設の設備等の更新

スポーツ施設の利用者ニーズを踏まえて、設備等を更新します。

主な取組		担当課
a	スポーツ施設の設備等の改善 利用者にとって快適性を高める改善を実施します。また、地域密着型プロスポーツチームのリーグ施設要件に沿った改修を実施します。	スポーツ課

③ 適正な管理・運営

指定管理者制度を導入している施設は、適切なモニタリングを実施するとともに、スポーツ施設の管理運営の効率化及びサービスの向上に努めます。

主な取組		担当課
a	指定管理者制度による管理運営 民間の専門的知識や運営ノウハウを活かした施設の運営により、管理運営の効率化や利用時間の延長及び専門的スポーツ指導員による施設を有効活用したスポーツプログラムの実施等のサービスの向上を実現し、利用者満足度を高めま す。 （関連計画：長野市公共施設マネジメント指針）	スポーツ課
b	料金体系の検討 スポーツ施設の適切な維持管理・運営を行うとともに、受益者負担などを考慮した適正な料金体系を継続的に検討します。	スポーツ課
c	施設の新たな維持管理・運営手法の研究検討 スポーツ施設の利用促進を図り、効率的、効果的で持続可能な維持管理・運営手法を研究検討します。	スポーツ課

(3) 令和 10 年 (2028 年) の国民スポーツ大会等に向けた準備

本市で実施される国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の競技種目について、施設基準を満たす競技会場の検討と整備を推進します。

① 競技会場の検討と整備

主な取組		担当課
a	競技会場の検討 実施される競技の施設基準を満たす競技会場を検討し、 <u>施設整備計画を策定</u> <u>します。</u>	スポーツ課
b	競技会場の整備等 <u>施設整備計画</u> に基づき、競技会場の整備を推進するとともに、必要に応じ既存施設の改修などを行います。	スポーツ課

施策２ スポーツを通じた交流拡大の推進

多くの市民が市内の競技施設などでスポーツを観戦するとともに、スポーツを通じた交流人口の拡大を目指します。

施策指標	現状値（R3）	目標値（R8）
地域密着型プロスポーツチーム ホームゲーム開催による経済波及効果	19.76 億円	39.69 億円

背景と課題

●地域密着型プロスポーツチームとの連携の推進

市内の競技施設などでプロスポーツやトップレベルのスポーツを観戦した人の割合は51.1%（令和2年度）となっており、さらに増加する余地は充分にあります。プロスポーツチームと連携したまちづくりにより、市民の本市に対する誇りと愛着を高め、さらに交流人口を増やしていくことが求められます。

●国際大会や全国大会などの誘致・開催

本市では、長野オリンピック・パラリンピック冬季競技大会の有形無形の財産を活かして、プロスポーツや国際大会・全国大会などの各種競技大会が開かれてきました。これからも、スポーツによる産業振興が可能な本市の特徴を充分に活かしていくことが重要です。

●オリンピック・パラリンピックムーブメントの推進

令和3年7月～9月に開催された、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会は、徹底した新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策のもと、世界中の人々を感動で繋ぎ、共感を通じて連帯の輪が広がる、かつてない素晴らしい大会となりました。本市も長野オリンピック・パラリンピック冬季競技大会を開催した都市として、オリンピック・パラリンピックムーブメントを推進し、事前合宿受入など開催を支援しました。今後も引き続き、本市のオリンピック・パラリンピックムーブメントを継承していくことが求められます。

施策2-1 地域密着型プロスポーツチームとの連携の推進

地域密着型プロスポーツチームとの連携・協力により、スポーツ振興及び地域の活性化を図ります。

施策指標	現状値（R2）	目標値（R8）
地域密着型プロスポーツチームの ホームゲーム入場者数	79,408 人	366,000 人

(1) 地域密着型プロスポーツチームとの連携

4つの地域密着型プロスポーツチーム（AC長野パルセイロ、AC長野パルセイロ・レディース、ボアルース長野フットサルクラブ、信州ブレイブウォリアーズ）との「連携推進ビジョン」に基づき地域密着型プロスポーツチームと協働による「スポーツを通じた“人”と“まち”のポジティブサイクル（好循環）づくり」を推進します。

① 「する」スポーツでのポジティブサイクルづくり

主な取組		担当課
a	スポーツを始めるきっかけづくり スポーツ教室、スポーツフェスティバル等に、プロスポーツチームからスタッフ・選手の派遣、企画提案等を受け、魅力を向上します。また、幼稚園・保育所等及び小学校で、プロスポーツチームからスタッフ・選手の派遣によるスポーツ講座など、スポーツ交流を実施します。	スポーツ課
b	スポーツの習慣化 自宅等でできるスポーツに関する情報発信を行います。また、プロスポーツチームによるスポーツスクールや総合型地域スポーツクラブ等へのスタッフ・選手の派遣等により、継続的にスポーツに取り組む場づくりを推進します。 さらに、部活動の適正化についてプロスポーツチームとの連携など可能性を研究していきます。	スポーツ課 学校教育課

② 「観る」スポーツでのポジティブサイクルづくり

主な取組		担当課
a	観戦のきっかけづくり プロスポーツチーム（チームの魅力、選手、スタッフ等）やホームゲームの認知度を高める情報発信をSNS等により行います。また、子どもたちに観戦の機会を積極的に提供していきます。	スポーツ課
b	ホームゲームを支える施設の充実 プロスポーツチームのリーグ施設要件に沿って、長野Uスタジアム、ホワイトリングの設備を充実し、観戦者の満足度の向上を図ります。	スポーツ課

c	域内消費の拡大 プロスポーツチームのホームゲームにおいて、長野市の観光・物産のPRを行います(ホームタウンデー等)。また、市内にプロスポーツチームが設置する交流拠点を側面的に支援し、チームの認知度を高めます。	スポーツ課 商工労働課 観光振興課
d	交流人口の拡大 プロスポーツチームを介して本市のシティプロモーション及び観光誘客を行い、交流人口の拡大を推進します。相手チームサポーターの受入体制を整え、市内の周遊を促進します。	商工労働課 観光振興課 スポーツ課

③ 「つながる」スポーツでのポジティブサイクルづくり

主な取組		担当課
a	市民ボランティアとの連携 プロスポーツチームと連携して、市民ボランティアが楽しみ・やりがいを持って活動できる場を確保しながら、長野オリンピックを契機に生まれたボランティア文化を時代に合わせて継承・発展させていきます。	スポーツ課
b	賑わいや交流する場の提供 プロスポーツチームと連携し、ホームゲーム時に、スポーツや文化芸術など様々な活動の発表、地元特産物の販売など、スポーツを介した賑わいや交流の場を提供していきます。	スポーツ課

④ 「連携推進ビジョン」の推進

主な取組		担当課
a	「連携推進ビジョン」の推進 連携推進ビジョンの進捗状況を毎年確認するとともに、翌年度の事業に改善策を反映します。	スポーツ課

施策2-2 国際大会や全国大会などの誘致・開催

大規模スポーツ施設を活用し、国際大会や全国大会などトップレベルの競技大会を誘致・開催し、市民のスポーツへの関心を高めるとともに、交流人口の拡大を推進します。

また、令和10年（2028年）の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の開催準備を推進します。

施策指標	現状値（R2）	目標値（R8）
国際大会・全国大会等の開催数	4回	10回

(1) 国際大会や全国大会などの誘致・開催

オリンピック施設などの大規模スポーツ施設を有効に活用し、市民の観るスポーツへの関心を高めるとともに、長野市からスポーツ都市としての情報発信を行います。

① 大規模施設を有効活用した国際大会や全国大会の誘致・開催

各種競技の国際大会や全国大会等を積極的に誘致・開催します。

主な取組		担当課
a	冬季スポーツ大会の実施 エムウェーブやビッグハット等の大規模施設を活用して、ワールドカップ スピードスケート競技会、国際フィギュアスケート競技会、アジアリーグアイスホッケー、全国中学校スケート大会等の冬季スポーツの大会を実施します。	スポーツ課
b	集客型スポーツ大会、プロスポーツ等の試合開催 長野Uスタジアムを活用して、Jリーグインターナショナルユースカップ、プレシーズンマッチ等の大会を実施します。また、長野オリンピックスタジアムを活用して、プロ野球と連携して公式戦を実施します。	スポーツ課
c	様々な競技の全国大会等の実施 全日本大学軟式野球選抜大会をはじめとして、様々な競技の全国大会を誘致・開催します。	スポーツ課
d	交流人口の拡大 大会を介して本市のシティプロモーション及び観光誘客を行い、交流人口の拡大を推進します。大会前後の観光などに関する情報発信を行い、市内の周遊を促進します。	観光振興課 スポーツ課

(2) 宿泊滞在型のスポーツイベントの促進

宿泊滞在型のスポーツイベントの開催により、スポーツの拠点化を図り、地域の活性化を促進するとともに、地域への経済効果の波及に寄与します。

① 宿泊滞在型のスポーツイベントの継続開催

多数の参加者や競技者が宿泊滞在を伴う大会を、継続して開催します。

主な取組		担当課
a	宿泊滞在型のスポーツイベントの継続開催 長野マラソン、長野車いすマラソン、全国中学校スケート大会を継続開催するとともに、参加者の市内周遊を促進します。また、令和9年度以降の全国中学校スケート大会の継続開催を検討していきます。	スポーツ課 観光振興課

② 関係団体との連携

宿泊滞在型のスポーツイベント、大会等を誘致・開催します。

主な取組		担当課
a	ながの観光コンベンションビューロー等と連携した宿泊滞在型のスポーツイベントの誘致・開催 ながの観光コンベンションビューローや競技団体等と連携し、全日本大学軟式野球選抜大会などの大会や、合宿等を誘致・開催します。	観光振興課 スポーツ課

(3) 令和10年(2028年)の国民スポーツ大会等に向けた機運醸成

本市で開催される、国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の開催準備を推進します。

① 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会に向けた機運醸成

主な取組		担当課
a	開催準備の推進 昭和53年(1978年)の「やまびこ国体」以来50年ぶりに開催される国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の成功に向け、関係団体・機関、県並びに市町村が一丸となって開催準備を推進します。	スポーツ課

施策2-3 オリンピック・パラリンピックムーブメントの推進

長野オリンピック・パラリンピック冬季競技大会の開催を契機とした有形無形の財産を活用しながら、オリンピック・パラリンピックムーブメントを推進します。

施策指標	現状値 (R2)	目標値 (R8)
オリンピック・パラリンピックムーブメント事業の開催数	2回	3回

(1) オリンピック・パラリンピックムーブメントの継承

長野オリンピック・パラリンピック冬季競技大会を契機とした有形無形の財産を活用し、オリンピック・パラリンピックムーブメントを継承します。

① 長野オリンピック・パラリンピック冬季競技大会を契機とした有形無形の財産の活用

教室やイベント等の開催、情報発信により、長野オリンピック・パラリンピック冬季競技大会開催から培ってきたオリンピック・パラリンピックムーブメントを継承、推進します。

主な取組		担当課
a	JOCと長野市で締結した「パートナー都市協定」の活用 本市のスポーツ施設をトップアスリートの選手強化に活用し、競技力向上を図ります。日本オリンピック委員会(JOC)と連携し、オリンピックと一緒にジョギングを行うオリンピックデーランや中学生を対象としたオリンピックによるオリンピック教室の開催等のスポーツ推進事業を実施します。	スポーツ課
b	長野オリンピックミュージアムからの情報発信 全世界のオリンピックミュージアムのネットワークに加盟したエムウェーブ内の長野オリンピックミュージアムによって、オリンピックムーブメントを継承するとともに、長野からの情報発信を図ります。	観光振興課
c	国内トップレベルの大会や国際大会の開催(再掲) オリンピック競技施設において国際大会等を開催します。	スポーツ課
d	一校一国運動の継続 各学校が担当する1つの国との交流活動を通して、相手国のことを理解するとともに、日本の文化や長所を理解する学びの支援を継続します。 (関連計画:長野市教育振興基本計画)	学校教育課
e	市民ボランティアとの連携と新たな担い手参加の推進 ボランティア活動に参加する市民が、交流を楽しんだり、本市に対する愛着や誇りを強くもてるよう、本市のスポーツイベントを支える市民ボランティアとの連携を推進します。また、長野マラソン、長野車いすマラソンをはじめとする各種スポーツイベントの運営や障害者スポーツを支える環境づくりといったスポーツに関する様々な取組に合わせ、学生ボランティアをはじめとする新たな担い手にボランティア活動の場を提供します。	スポーツ課

f	NAGANOパラ★スポーツデーの開催(再掲) 長野市障害者スポーツ協会など関係機関と連携・協力しNAGANOパラ★スポーツデーを開催し、障害者スポーツを通じた相互理解を深める取組を推進します。	スポーツ課
g	パラスポーツ出前講座の実施(再掲) 長野県障がい者スポーツ協会と連携し、パラリンピアンなどの指導者が小・中学校に出張し、パラスポーツの講演会・実技・体験会などを実施し、共生社会・学校の多様性・包摂性を高める教育の充実を図ります。	学校教育課 スポーツ課
h	パラウェーブNAGANOとの連携(再掲) 県が実施する「パラウェーブNAGANO」と連携し、パラスポーツを推進し、お互いを尊重し合う共生社会の実現を目指します。	学校教育課

(2) 開催都市間の連携

① 開催都市間の連携

主な取組		担当課
a	オリンピック都市世界連合¹¹との連携 オリンピック都市世界連合と連携し、オリンピックムーブメントを推進します。また、オリンピックレガシーの維持、次世代への継承を推進します。	スポーツ課
b	令和12年(2030年)冬季オリンピック・パラリンピック招致活動への協力 令和12年(2030年)冬季オリンピック・パラリンピック招致を目指している札幌市に協力します。	スポーツ課

¹¹ **オリンピック都市世界連合**

オリンピック開催都市等が、オリンピック精神を守り伝えることを目的とした団体のこと。

第 5 章 計画の推進

1 推進体制

本計画の推進にあたっては行政だけでなく、市民をはじめ、スポーツ関係団体や関係機関との協働により実施していくことが重要です。

(1) 市民の役割

一人ひとりが生涯にわたりスポーツに主体的に取り組み、健康で豊かなスポーツライフを送ることを目指します。一人ひとりが地域の一員として、地域のスポーツ環境を支えていくことが期待されます。

(2) スポーツ関係団体や関係機関の役割

① スポーツ普及の担い手

(総合型地域スポーツクラブ、スポーツ推進委員、
競技団体、地域密着型プロスポーツチーム 等)

広く市民が参加できる様々なプログラムの展開、情報の収集と提供、多様なニーズに対応できる指導者の養成等、スポーツの普及に貢献することが期待されます。



スポーツ関係団体や関係機関が
協力して好循環を創出します

② 競技力向上の担い手

(長野市スポーツ協会、競技団体、
地域密着型プロスポーツチーム 等)

ジュニア期からの一貫した強化体制の確立、競技力を引き上げる指導者の養成等、競技力の向上に貢献することが期待されます。

③ 交流の担い手 (競技団体、地域密着型プロスポーツチーム 等)

スポーツ観光の大きな資源となり、試合観戦等で交流人口を拡大させることが期待されます。

(3) 行政の役割

市民のスポーツに関するニーズを把握し、地域のスポーツ団体や関係機関と連携しながら、市民がスポーツに親しむために必要な環境を整備し、体制を整えます。

2 計画の点検・評価

(1) 目的

計画の点検・評価は、本計画の施策効果の最大化を図り、計画の実効性を高めることを目的とします。

(2) 方法

計画の点検・評価は、PDCA サイクルを基本とし、計画の評価・施策の進捗評価・事務事業の評価を組み合わせ実施します。

Check（評価）において、施策の成果や実施状況を点検・評価しやすくするため、指標を設定します。

また、Action（改善）では、学識経験者、スポーツ団体、関係機関、公募による市民等からなる「長野市スポーツ推進審議会」において、「指標」をコミュニケーションツールとして、施策の進捗状況を毎年評価し、庁内における事務事業評価の結果と合わせて、翌年度事業の内容や予算を改善します。計画期間の最終年度には、計画全体の達成状況を評価し、次期計画の策定に反映します。

	計画の評価	施策の進捗評価	事務事業の評価
目的	計画全体の達成状況を評価し次期計画に反映する	施策を評価・改善し実施計画に反映する	事務事業を評価・改善し実施計画に反映する
評価主体	スポーツ推進審議会	スポーツ推進審議会	長野市
時期	5年後（計画更新に合わせて）	毎年	毎年（事務事業評価）
指標	施策指標（アウトカム指標、アウトプット指標）		事業ごとに設定する目標（アウトプット指標）
評価のレベル	計画全体	施策 1-1 ～ 2-3	主な事業

(3) 指標設定の考え方

指標は、指標とアウトプット（実施した成果）指標とアウトカム（結果・成果・結論）を組み合わせ設定し、施策の成果や実施状況を把握します。

	アウトプット（実施した成果）		アウトカム（結果・成果・結論）
	知る・興味を持つ（意識変容）	スポーツを始める（行動変容）	スポーツを習慣化する（行動変容）
施策 1	スポーツ教室の参加者数 NAGANOパラ★スポーツデーへの参加者数	総合型地域スポーツクラブの会員数 競技団体の登録者数	スポーツ実施率
施策 2	ホームゲーム入場者数 国際大会・全国大会等の開催数	オリンピック・パラリンピックムーブメント事業の開催数	経済波及効果

(4) 指標一覧

施策	指標名	実績値 R2	目標値 R8	単位	目標値設定の根拠
施策1 だれもがスポーツを楽しめる環境づくりの推進	スポーツ実施率	59.9	65.0	%	国のスポーツ基本計画を準拠。前回目標値を継続
施策1-1 スポーツ人口の拡大	スポーツ教室の参加者数	1,266	1,330	人	参加者数（R2）の約5%増加を見込んだもの
施策1-2 地域における自主的なスポーツ活動の促進	総合型地域スポーツクラブの会員数	1,091	1,150	人	会員数（R2）の約5%増加を見込んだもの
施策1-3 スポーツを通じた共生社会の実現	NAGANOパラ★スポーツデーへの参加者数	400	1,000	人	当初（H29）の目標値を継続
施策1-4 競技スポーツの普及と競技力の向上	競技団体の登録者数	18,120	19,000	人	登録者数（R2）の約5%増加を見込んだもの
施策1-5 スポーツ施設の適正配置・長寿命化と管理・運営	—				個別施設計画により管理
施策2 スポーツを通じた交流拡大の推進	地域密着型プロスポーツチームホームゲーム開催による経済波及効果	(R3) 19.76	39.69	億円	経済波及効果（R3）の約2倍を見込んだもの
施策2-1 地域密着型プロスポーツチームとの連携の推進	地域密着型プロスポーツチームのホームゲーム入場者数	79,408	366,000	人	各チームが目指す入場者数の合計
施策2-2 国際大会や全国大会などの誘致・開催	国際大会・全国大会等の開催数	4	10	回	前回目標値を継続
施策2-3 オリンピック・パラリンピックムーブメントの推進	オリンピック・パラリンピックムーブメント事業の開催数	2	3	回	オリンピックデーラン、オリンピック教室、NAGANOパラ★スポーツデーの継続開催によるムーブメントの推進